運行管理者試験の申請者の実態把握及び状況分析に関する調査

報　告　書

２０１９年３月

公益財団法人　運行管理者試験センター

目　　次

１．調査の背景・目的ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー　1

２．調査の内容ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー　1

３．運行管理者試験における試験毎の申請者数についてーーーーーーーーーーーー　2

４．運行管理者試験の受験資格と申請者の傾向についてーーーーーーーーーーーー　15

５．運行管理者試験の申請者へのアンケート調査結果ーーーーーーーーーーーーー　27

６．事業者へのアンケート調査結果ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー　35

７．調査のまとめーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー　44

【付属資料】

１．調査の背景・目的

公益財団法人運行管理者試験センター（以下、試験センターとする）においては、運行管理者試験を年２回（貨物試験と旅客試験をそれぞれ８月と３月）実施しており、運行管理者試験の申請者数は平成 29 年度においては、あわせて約 95 千人となっている。

従来から、試験毎に受験者についての統計的な集計結果の分析を行っているが、同過去の試験の申請者の情報を用いて、申請者を時系列的に分析することにより、これまで明らかではなかった申請者について、新たな観点での実態を把握することにより解明することとした。

本調査は、運行管理者試験の申請者の実態を把握し、その状況を分析することにより、受験者の利便性を向上させ、また試験時事務の効率化を図ることにより、運行管理者試験の適正な執行に資する情報を整理することを目的として実施するものである。

２．調査の内容

本調査は下記の項目について実施する。

（１）過去の運行管理者試験における申請者数についての整理

（２）運行管理者試験の受験資格と申請者の傾向についての整理

（３）運行管理者試験の申請者へのアンケート調査と結果整理

（４）運行管理試験の申請者が所属する事業者へのアンケート調査と結果整理

（５）調査のまとめ

３．運行管理者試験における試験毎の申請者数について

ここでは、過去 10 回（５年分）の運行管理者試験における申請者数について、試験の種類、年齢や性別などの属性、試験地などにおいて整理し、試験毎の傾向について把握する。

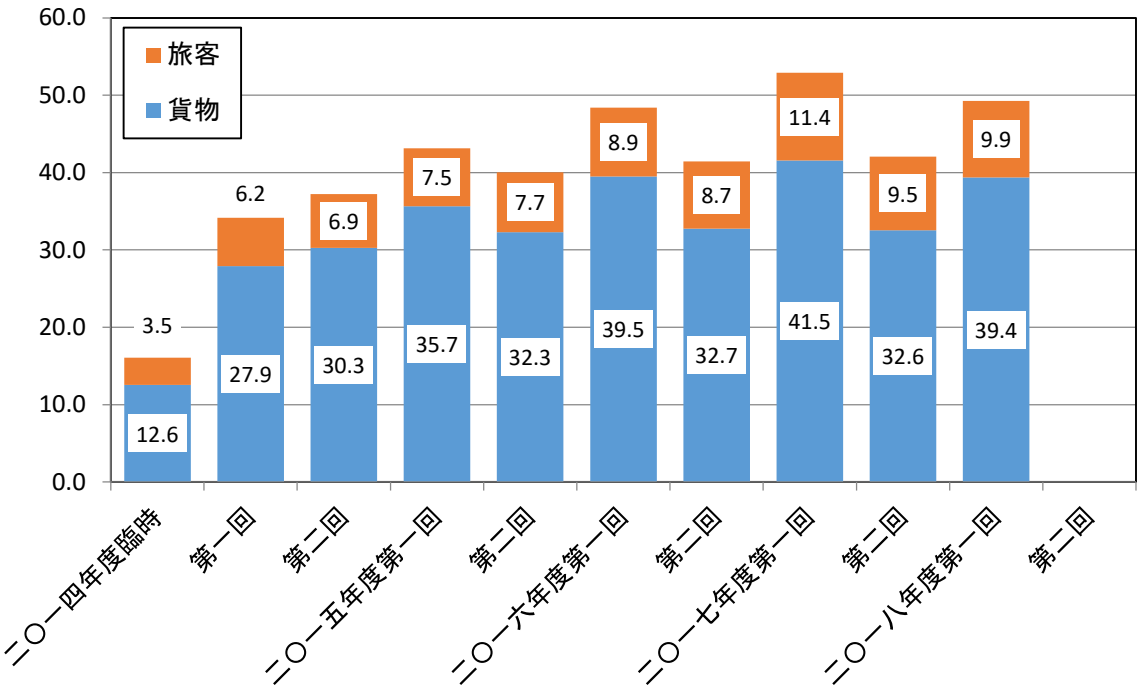
（１）過去 10 回の試験毎の申請者数の推移

2014 年度臨時試験（４月実施）から 2018 年度第１回（８月実施）までの過去 10 回の運行管理者試験における申請者数の合計は 405 千人と増加する傾向となっている。このうち、受験者数は 368 千人であり合格者数は 107 千人となった。

表３－１　過去 10 回の運行管理者試験の申請者数の推移

試験の種類		[貨　物]				[旅　客]				[合　計]			
試験年度	試験回数	申請者数	受験者数	合格者数	合格率	申請者数	受験者数	合格者数	合格率	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
2014年度	臨　時	12,567	11,541	4,064	35.2%	3,509	3,259	1,391	42.7%	16,076	14,800	5,455	36.9%
	第1回	27,907	25,501	3,674	14.4%	6,233	5,709	1,200	21.0%	34,140	31,210	4,874	15.6%
	第2回	30,277	27,610	10,181	36.9%	6,932	6,368	2,234	35.1%	37,209	33,978	12,415	36.5%
2015年度	第1回	35,651	32,699	7,402	22.6%	7,469	6,889	1,205	17.5%	43,120	39,588	8,607	21.7%
	第2回	32,308	29,520	8,575	29.0%	7,743	7,027	2,269	32.3%	40,051	36,547	10,844	29.7%
2016年度	第1回	39,514	36,028	10,868	30.2%	8,891	8,169	2,876	35.2%	48,405	44,197	13,744	31.1%
	第2回	32,747	29,621	6,069	20.5%	8,705	8,028	2,085	26.0%	41,452	37,649	8,154	21.7%
2017年度	第1回	41,549	37,774	13,238	35.0%	11,369	10,462	3,694	35.3%	52,918	48,236	16,932	35.1%
	第2回	32,552	29,063	9,605	33.0%	9,512	8,588	2,928	34.1%	42,064	37,651	12,533	33.3%
2018年度	第1回	39,383	35,619	10,220	28.7%	9,891	8,998	2,856	31.7%	49,274	44,617	13,076	29.3%
	第2回												
合計		324,455	294,976	83,896	28.4%	80,254	73,497	22,738	30.9%	404,709	368,473	106,634	28.9%

表３－１　申請者数の推移

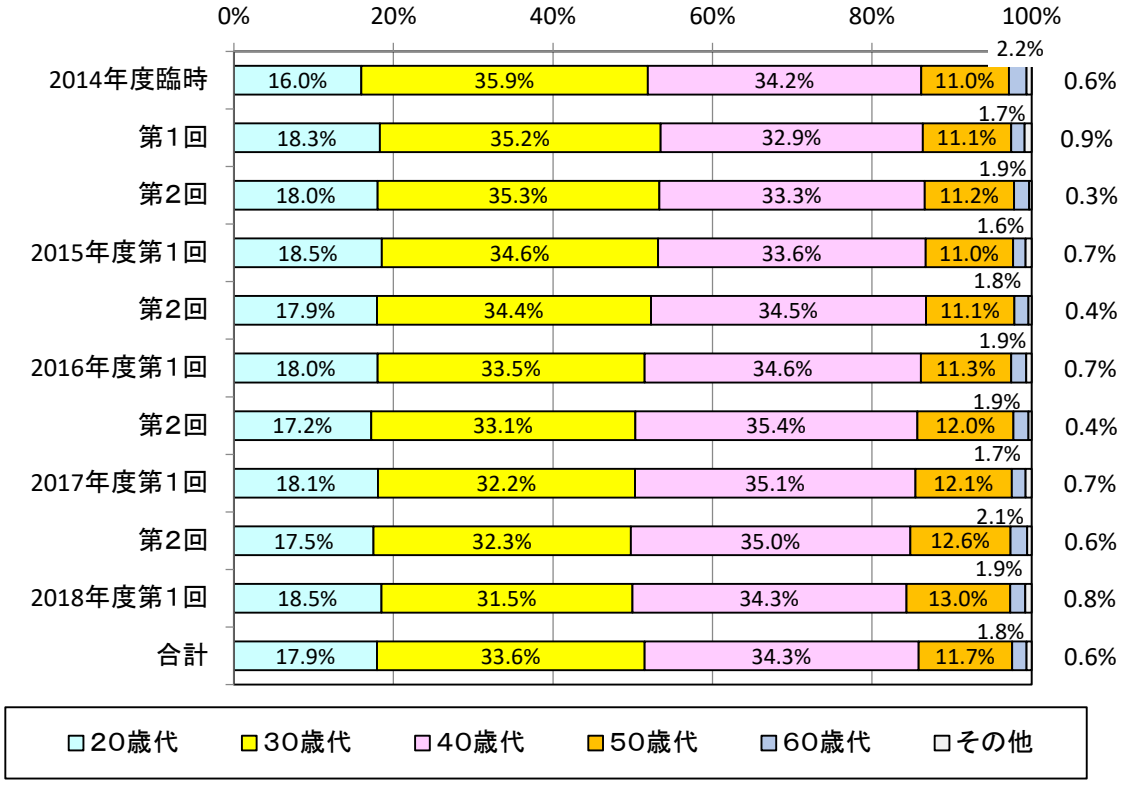


（２）申請者の年齢

運行管理者試験の申請者の年齢についてみてみる。なお、ここでの年齢は、試験が行われた時点における申請者の年齢とする。

過去 10 回の[貨物]試験における申請者の平均年齢は 39.0 歳であった。各回においては、38～39 歳と平均年齢に大きな変化はみられない。年齢構成としては、30 歳代および 40 歳代がそれぞれ申請者全体の約１／３を占めており、20 歳代が 16～18%であり、50 歳代は 11～13%を占めており、近年は微増の傾向が伺える。

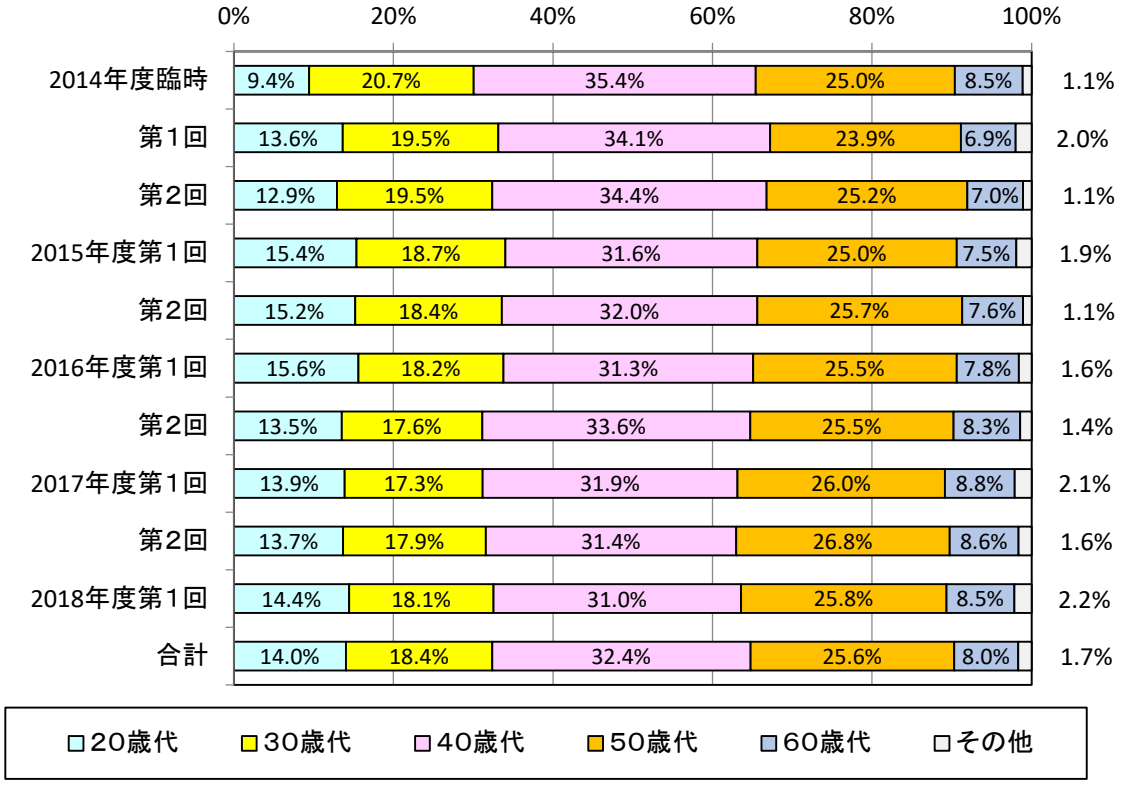
図３－２－１　申請者の年齢構成[貨物]



過去 10 回の[旅客]試験における申請者の平均年齢は 44.0 歳であった。各回においては、43～45 歳と平均年齢に大きな変化はみられない。年齢構成としては、40 歳代が最も多く申請者全体の３割強を占めており、50 歳代は 25%前後、30 歳代は 17～20%を占めており、20 歳代は 14%程度を占めている

[貨物]試験の申請者と比較すると、[旅客]試験の申請者の年齢層は５歳程度高くなっている。

図３－２－２　申請者の年齢構成[旅客]

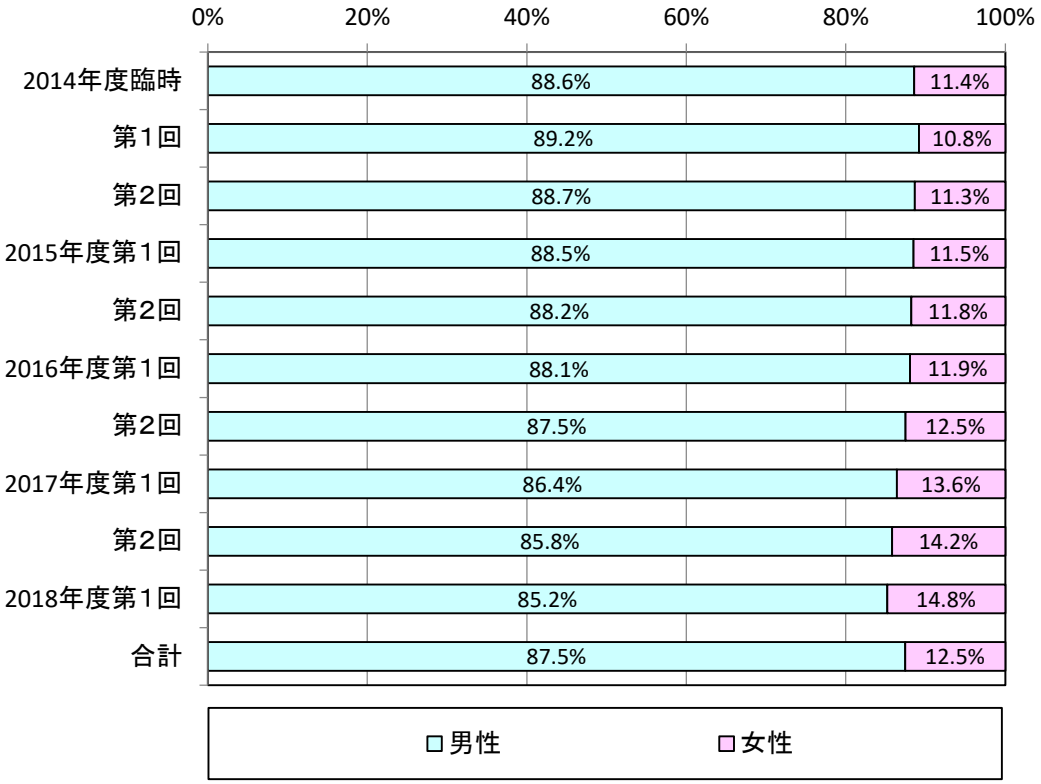


（３）申請者の性別

運行管理者試験の申請者の男女別の構成についてみてみる。

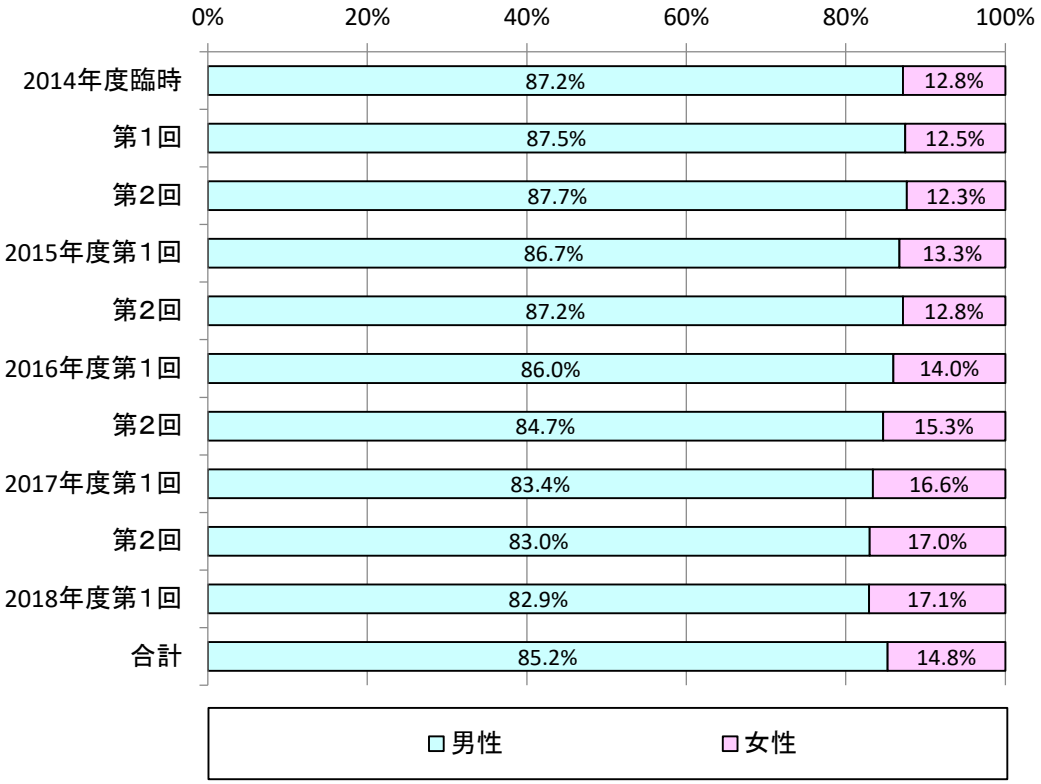
過去10回の[貨物]試験における申請者のうち男性は87.5%、女性は12.5%を占めている。2018年度第1回試験における女性の比率は14.8%となっており、近年では女性の占める割合が増加傾向にある。

図３－３－１　申請者の男女別の構成[貨物]



過去10回の[旅客]試験における申請者のうち男性は85.2%、女性は14.8%を占めている。2018年度第1回試験における女性の比率は17.1%となっており、[貨物]試験と同様に、女性の占める割合が増加傾向にある。
[貨物]試験の申請者の男女構成と比較すると、[旅客]試験の申請者における女性の占める割合が数%程度多くなっている。

図３－３－２　申請者の男女別の構成[旅客]



（４）申請者の試験地

運行管理者試験の申請者の試験地別の構成についてみてみる。

過去 10 回の[貨物]試験における試験地別の申請者数では、東京都、大阪府、愛知県、埼玉県、神奈川県などが上位を占めている。これらに千葉県、北海道、福岡県を加えた８都道府県よって、おおむね申請者数の５割強を占めている。

表３－４－１　過去 10 回の運行管理者試験の試験地別申請者数の構成[貨物]

[貨　物]	2014年度			2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	合計
試験地	臨時	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	
北　海　道	739	1,449	1,395	1,821	1,485	2,038	1,581	2,138	1,643	1,886	16,175
青　森　県		341	318	357	295	379	300	366	231	339	2,926
岩　手　県		342	343	435	378	420	376	484	373	440	3,591
宮　城　県	863	737	814	951	855	900	824	1,009	800	1,038	8,791
福　島　県		464	507	608	517	701	470	828	598	678	5,371
秋　田　県		170	132	180	132	189	127	235	138	202	1,505
山　形　県		212	208	249	243	301	208	258	204	217	2,100
新　潟　県	286	443	503	563	487	667	533	632	604	615	5,333
長　野　県		396	406	459	448	554	492	594	451	519	4,319
茨　城　県		844	802	1,036	910	1,079	927	1,044	848	1,091	8,581
栃　木　県		617	603	730	605	775	660	830	671	746	6,237
群　馬　県		524	527	620	597	692	589	750	631	675	5,605
埼　玉　県		1,700	1,858	2,235	2,094	2,538	2,025	2,509	1,985	2,425	19,369
千　葉　県		1,481	1,631	1,967	1,673	1,959	1,822	2,273	1,689	2,060	16,555
東　京　都	4,141	2,323	2,867	3,214	2,949	3,523	2,846	3,621	2,826	3,469	31,779
神奈川県		1,648	1,884	2,281	2,163	2,588	2,155	2,669	2,176	2,576	20,140
山　梨　県		178	183	195	164	210	181	244	210	216	1,781
富　山　県		247	242	323	271	341	243	332	287	291	2,577
石　川　県		314	276	307	260	364	267	369	294	362	2,813
福　井　県		178	179	198	186	228	196	227	179	218	1,789
岐　阜　県		395	438	528	557	604	493	629	527	601	4,772
静　岡　県		837	938	983	928	1,138	1,042	1,194	909	1,136	9,105
愛　知　県	1,621	1,789	1,848	2,350	2,020	2,590	2,107	2,594	1,996	2,623	21,538
三　重　県		479	475	562	512	637	550	678	576	573	5,042
滋　賀　県		356	350	415	364	439	407	459	403	482	3,675
京　都　府		604	648	730	774	892	729	885	677	763	6,702
大　阪　府	2,616	2,158	2,589	3,010	2,820	3,459	2,837	3,653	2,763	3,351	29,256
兵　庫　県		957	1,098	1,207	1,188	1,445	1,233	1,517	1,163	1,496	11,304
奈　良　県		261	332	294	301	345	300	396	339	341	2,909
和歌山県		205	210	215	239	281	244	315	254	314	2,277
鳥　取　県		99	79	136	91	146	73	140	90	125	979
島　根　県		152	139	194	171	218	161	237	166	180	1,618
岡　山　県		555	617	736	596	709	596	816	661	784	6,070
広　島　県	679	598	694	884	758	895	750	956	740	979	7,933
山　口　県		287	297	324	321	404	343	400	290	393	3,059
徳　島　県		109	133	147	158	195	137	172	170	188	1,409
香　川　県	384	257	310	311	261	372	296	435	308	363	3,297
愛　媛　県		294	317	329	348	400	317	361	326	403	3,095
高　知　県		102	104	141	109	128	118	149	119	152	1,122
福　岡　県	1,113	1,109	1,113	1,402	1,255	1,544	1,367	1,661	1,283	1,609	13,456
佐　賀　県		205	229	283	214	281	246	328	234	338	2,358
長　崎　県		180	192	208	177	202	168	231	192	255	1,805
熊　本　県		311	357	348	388	392	379	497	387	488	3,547
大　分　県		203	203	212	200	242	212	268	216	236	1,992
宮　崎　県		225	246	301	249	335	222	296	240	320	2,434
鹿児島県		378	373	418	334	474	314	499	394	471	3,655
沖　縄　県	125	194	270	254	263	301	284	371	291	356	2,709
合　　計	12,567	27,907	30,277	35,651	32,308	39,514	32,747	41,549	32,552	39,383	324,455

過去10回の[旅客]試験における試験地別の申請者数では、東京都、大阪府、神奈川県、北海道、愛知県などが上位を占めている。これらに福岡県、千葉県、埼玉県、兵庫県を加えた９都道府県よって、おおむね申請者数の５割強を占めている。

表３－４－２　過去10回の運行管理者試験の試験地別申請者数の構成[旅客]

[旅　客]	2014年度			2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	合計
試験地	臨時	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	
北　海　道	250	226	307	374	396	474	466	665	594	585	4,337
青　森　県		107	78	104	117	91	111	153	128	113	1,002
岩　手　県		73	86	83	98	109	113	154	151	127	994
宮　城　県	240	137	170	156	186	191	220	225	233	191	1,949
福　島　県		118	110	170	161	183	191	244	189	219	1,585
秋　田　県		38	49	48	55	48	52	74	59	60	483
山　形　県		49	62	69	72	74	73	99	90	89	677
新　潟　県	119	111	128	122	130	155	140	196	156	147	1,404
長　野　県		163	170	151	179	186	200	242	188	164	1,643
茨　城　県		125	133	140	166	187	233	262	226	255	1,727
栃　木　県		108	104	104	95	88	142	189	172	146	1,148
群　馬　県		81	92	94	89	122	112	177	117	116	1,000
埼　玉　県		262	299	329	325	355	367	420	384	370	3,111
千　葉　県		253	328	356	364	380	394	524	449	496	3,544
東　京　都	1,283	773	847	1,012	1,055	1,213	1,055	1,336	1,081	1,153	10,808
神奈川県		410	436	465	450	515	468	565	467	570	4,346
山　梨　県		52	37	43	35	58	62	89	87	54	517
富　山　県		55	73	48	57	67	62	80	79	74	595
石　川　県		70	73	63	60	74	77	80	73	71	641
福　井　県		45	32	25	24	42	47	55	41	66	377
岐　阜　県		111	107	110	113	131	182	194	136	129	1,213
静　岡　県		214	210	231	275	279	229	327	245	237	2,247
愛　知　県	396	301	319	366	398	421	423	550	417	445	4,036
三　重　県		68	67	95	91	124	109	127	103	115	899
滋　賀　県		52	79	66	72	80	87	119	101	113	769
京　都　府		137	173	162	185	217	218	253	227	237	1,809
大　阪　府	578	400	508	517	549	625	604	732	639	769	5,921
兵　庫　県		222	242	237	268	302	286	343	315	320	2,535
奈　良　県		69	87	80	89	100	105	140	114	136	920
和歌山県		65	55	60	78	78	83	94	88	90	691
鳥　取　県		20	25	21	26	27	19	43	30	33	244
島　根　県		58	66	50	53	92	88	112	112	98	729
岡　山　県		128	141	164	134	169	170	241	176	159	1,482
広　島　県	133	154	188	198	183	220	216	288	230	270	2,080
山　口　県		54	65	100	66	92	100	142	116	102	837
徳　島　県											
香　川　県	105	50	83	84	89	113	103	147	117	146	1,037
愛　媛　県		50	54	56	53	76	62	83	68	58	560
高　知　県		26	31	32	21	37	24	38	38	29	276
福　岡　県	351	251	257	294	325	364	344	531	485	455	3,657
佐　賀　県		42	51	46	37	57	56	100	64	72	525
長　崎　県		102	96	102	71	126	109	150	102	128	986
熊　本　県		129	130	159	161	117	156	216	158	176	1,402
大　分　県		51	39	59	52	65	59	102	77	109	613
宮　崎　県		55	67	55	58	75	54	96	84	86	630
鹿児島県		81	93	86	90	105	95	151	109	106	916
沖　縄　県	54	87	85	83	92	187	139	221	197	207	1,352
合　　計	3,509	6,233	6,932	7,469	7,743	8,891	8,705	11,369	9,512	9,891	80,254

（５）申請者の申請地

運行管理者試験の申請者の申請地別の構成についてみてみる。

過去 10 回の[貨物]試験における申請地別の申請者数では、東京都、大阪府、埼玉県、愛知県、神奈川県などが上位を占めている。これらに北海道、千葉県、福岡県、を加えた８都道府県によって、おおむね申請者数の５割強を占めている。

表３－５－１　過去 10 回の運行管理者試験の申請地別申請者数の構成[貨物]

[貨　物]	2014年度			2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	合計
申請地	臨時	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	
北　海　道	745	1,459	1,406	1,832	1,517	2,050	1,601	2,146	1,660	1,886	16,302
青　森　県	40	343	317	357	298	379	299	370	232	339	2,974
岩　手　県	75	335	347	432	377	420	380	483	376	440	3,665
宮　城　県	506	704	788	921	812	877	790	968	763	1,038	8,167
福　島　県	142	465	510	611	528	695	473	843	608	678	5,553
秋　田　県	17	168	131	183	135	188	128	234	138	202	1,524
山　形　県	77	215	212	252	243	303	210	261	210	217	2,200
新　潟　県	226	454	514	565	498	670	552	642	621	615	5,357
長　野　県	64	391	405	440	422	531	474	590	441	519	4,277
茨　城　県	228	816	752	1,002	843	1,059	880	980	812	1,091	8,463
栃　木　県	151	614	595	727	592	759	643	811	651	746	6,289
群　馬　県	88	478	487	567	546	668	546	701	579	675	5,335
埼　玉　県	786	1,878	2,008	2,442	2,318	2,755	2,271	2,831	2,222	2,425	21,936
千　葉　県	539	1,402	1,498	1,835	1,537	1,800	1,656	2,073	1,518	2,060	15,918
東　京　都	1,387	2,363	2,980	3,332	3,037	3,667	3,011	3,761	2,976	3,469	29,983
神奈川県	846	1,630	1,889	2,228	2,127	2,495	2,067	2,589	2,105	2,576	20,552
山　梨　県	33	174	179	189	168	205	177	239	202	216	1,782
富　山　県	30	241	232	310	254	334	234	315	269	291	2,510
石　川　県	48	305	269	301	254	352	258	359	282	362	2,790
福　井　県	20	179	178	194	183	227	196	223	173	218	1,791
岐　阜　県	200	407	445	508	526	608	489	621	532	601	4,937
静　岡　県	226	807	893	933	879	1,075	1,018	1,155	887	1,136	9,009
愛　知　県	1,037	1,824	1,891	2,453	2,170	2,687	2,121	2,653	2,029	2,623	21,488
三　重　県	157	487	472	557	510	635	547	673	583	573	5,194
滋　賀　県	109	357	357	418	360	432	395	452	394	482	3,756
京　都　府	300	603	643	727	793	908	726	878	692	763	7,033
大　阪　府	1,477	2,147	2,593	3,050	2,840	3,497	2,937	3,710	2,781	3,351	28,383
兵　庫　県	503	982	1,132	1,237	1,191	1,454	1,212	1,538	1,152	1,496	11,897
奈　良　県	121	247	308	280	294	325	274	375	324	341	2,889
和歌山県	68	190	189	185	218	269	232	294	238	314	2,197
鳥　取　県	15	122	106	164	114	174	109	178	124	125	1,231
島　根　県	42	126	109	161	145	181	124	192	135	180	1,395
岡　山　県	170	498	547	643	515	613	511	723	592	784	5,596
広　島　県	497	644	757	943	832	977	807	1,020	818	979	8,274
山　口　県	115	288	299	336	325	405	350	417	294	393	3,222
徳　島　県	39	110	134	153	157	193	133	172	162	188	1,441
香　川　県	128	240	293	286	236	355	271	416	289	363	2,877
愛　媛　県	73	305	320	333	354	404	331	374	335	403	3,232
高　知　県	44	103	106	142	108	127	118	147	120	152	1,167
福　岡　県	676	1,087	1,122	1,381	1,220	1,519	1,374	1,680	1,288	1,609	12,956
佐　賀　県	93	200	216	276	210	253	229	300	216	338	2,331
長　崎　県	68	191	197	224	186	215	176	236	206	255	1,954
熊　本　県	100	308	354	345	389	394	376	492	392	488	3,638
大　分　県	65	208	206	216	203	255	222	271	214	236	2,096
宮　崎　県	23	222	244	300	246	335	219	297	240	320	2,446
鹿児島県	51	381	378	421	336	473	312	495	387	471	3,705
沖　縄　県	122	209	269	259	262	317	288	371	290	356	2,743
合　　計	12,567	27,907	30,277	35,651	32,308	39,514	32,747	41,549	32,552	39,383	324,455

過去10回の[旅客]試験における申請地別の申請者数では、東京都、大阪府、神奈川県、北海道、愛知県などが上位を占めている。これらに千葉県、埼玉県、福岡県、兵庫県を加えた９都道府県によって、おおむね申請者数の５割強を占めている。

表３－５－２　過去10回の運行管理者試験の申請地別申請者数の構成[旅客]

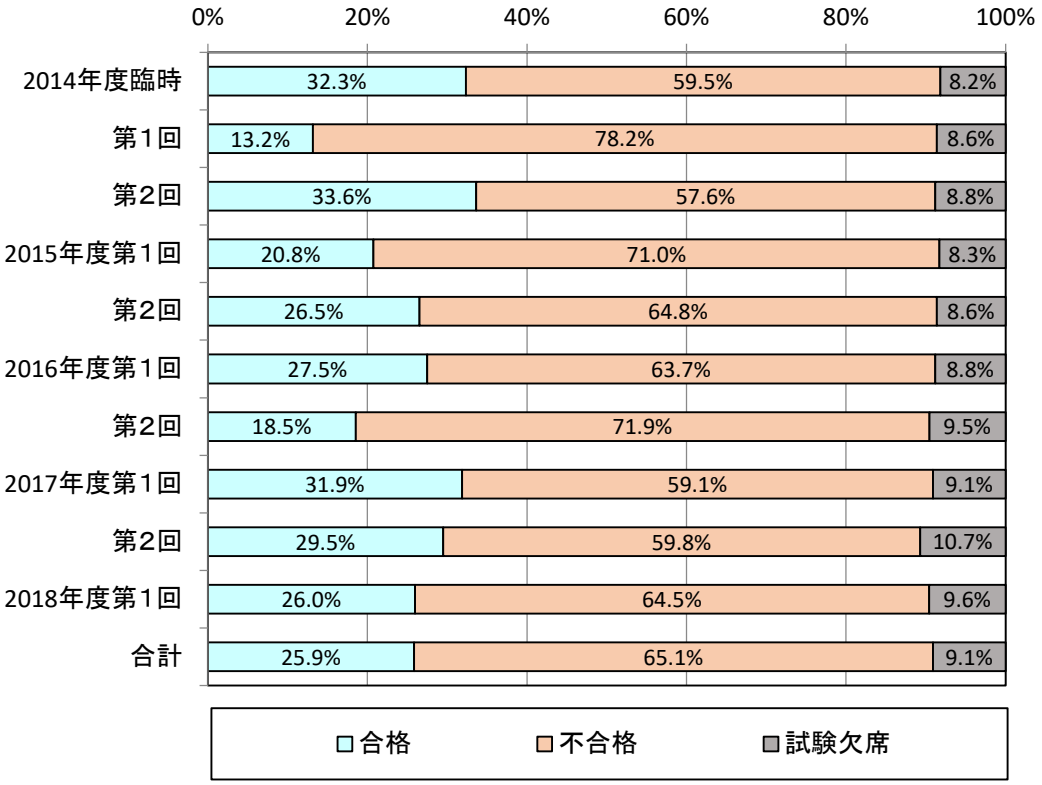
[旅　客]	2014年度			2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	合計
申請地	臨時	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	
北海道	249	233	314	380	399	477	476	666	602	585	4,381
青森県	18	99	73	101	114	88	107	152	122	113	987
岩手県	26	73	85	82	99	109	115	154	150	127	1,020
宮城県	131	128	168	153	180	184	217	222	216	191	1,790
福島県	52	131	118	176	168	193	195	250	197	219	1,699
秋田県	5	40	53	48	55	50	54	76	60	60	501
山形県	14	49	59	69	74	76	72	97	92	89	691
新潟県	94	121	129	127	132	160	147	204	159	147	1,420
長野県	40	158	172	146	175	182	201	238	190	164	1,666
茨城県	57	132	135	141	171	192	236	263	228	255	1,810
栃木県	34	110	105	109	98	87	142	188	169	146	1,188
群馬県	25	68	83	81	84	110	97	167	114	116	945
埼玉県	161	278	298	324	307	359	348	405	369	370	3,219
千葉県	182	250	317	342	357	365	393	516	453	496	3,671
東京都	553	754	865	1,046	1,090	1,248	1,083	1,369	1,112	1,153	10,273
神奈川県	228	406	421	452	431	499	460	558	456	570	4,481
山梨県	15	53	39	45	38	51	63	87	84	54	529
富山県	13	54	73	50	57	65	57	78	76	74	597
石川県	3	67	72	60	58	74	75	82	71	71	633
福井県	12	48	33	25	24	42	48	57	44	66	399
岐阜県	56	113	117	117	123	134	189	204	146	129	1,328
静岡県	54	217	216	234	279	282	232	330	245	237	2,326
愛知県	233	295	301	351	387	419	417	536	408	445	3,792
三重県	35	72	71	98	91	123	110	127	104	115	946
滋賀県	27	50	77	64	71	76	87	115	96	113	776
京都府	63	135	167	161	183	214	219	260	235	237	1,874
大阪府	304	414	497	517	568	636	621	721	631	769	5,678
兵庫県	135	218	256	239	255	304	282	365	336	320	2,710
奈良県	21	69	88	78	87	96	102	134	106	136	917
和歌山県	25	61	55	59	75	74	68	88	74	90	669
鳥取県	9	28	39	28	29	35	26	55	50	33	332
島根県	6	55	55	47	54	85	80	104	97	98	681
岡山県	28	121	129	155	125	158	163	234	173	159	1,445
広島県	97	152	193	202	191	223	222	290	232	270	2,072
山口県	27	54	66	102	67	97	101	144	118	102	878
徳島県	23	26	43	52	45	60	48	64	60		421
香川県	27	24	43	35	44	56	57	84	56	146	572
愛媛県	17	51	55	56	54	75	60	82	69	58	577
高知県	20	25	30	28	20	37	23	38	39	29	289
福岡県	178	238	251	293	312	345	324	521	465	455	3,382
佐賀県	37	45	45	41	38	63	60	97	66	72	564
長崎県	32	114	105	108	81	133	119	157	110	128	1,087
熊本県	38	129	131	160	160	120	158	218	158	176	1,448
大分県	29	49	41	60	53	69	64	105	83	109	662
宮崎県	8	58	66	55	59	74	54	97	86	86	643
鹿児島県	16	81	95	87	90	107	96	153	109	106	940
沖縄県	52	87	88	85	91	185	137	217	196	207	1,345
合計	3,509	6,233	6,932	7,469	7,743	8,891	8,705	11,369	9,512	9,891	80,254

（６）申請者の合否

運行管理者試験における申請者の試験結果（合格／不合格）についてみてみる。

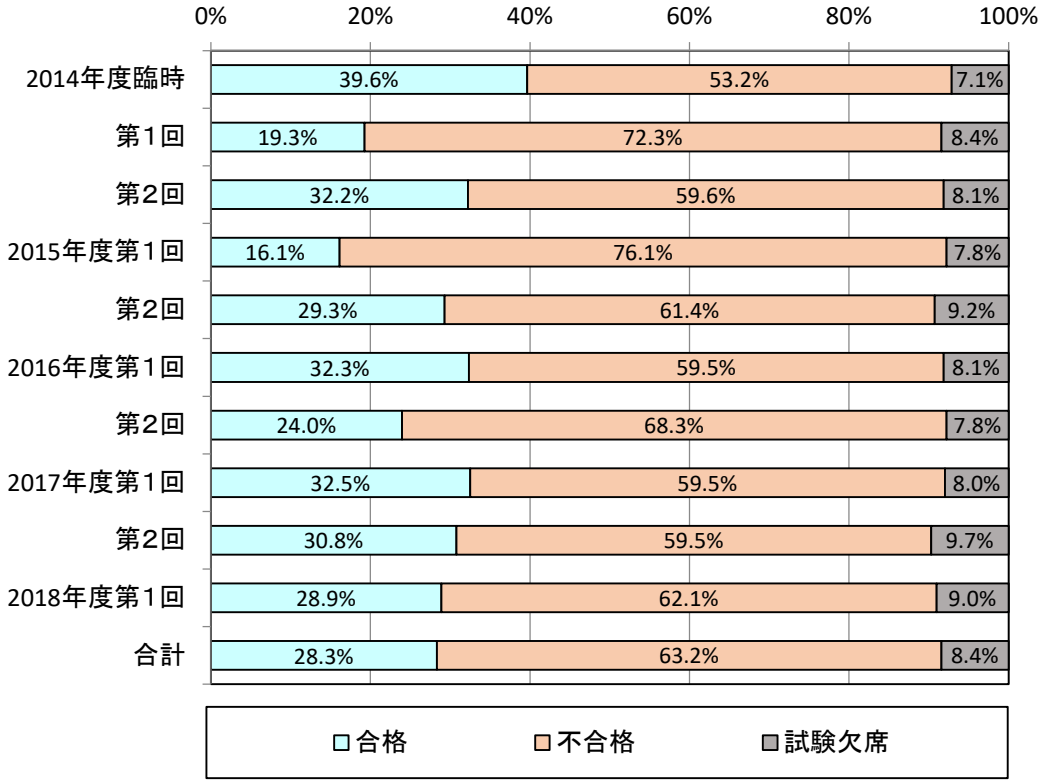
過去 10 回の[貨物]試験における合格率（合格者÷受験者）は平均すると 28.4%である。毎回、申請者のうちの約１割程度は、試験を欠席している。

図３－６－１　申請者における合格者の占める割合[貨物]



過去 10 回の[旅客]試験における合格率（合格者÷受験者）は平均すると 30.9%である。毎回、申請者のうちの１割弱は、試験を欠席している。

表３－６－２　申請者における合格者の占める割合[旅客]



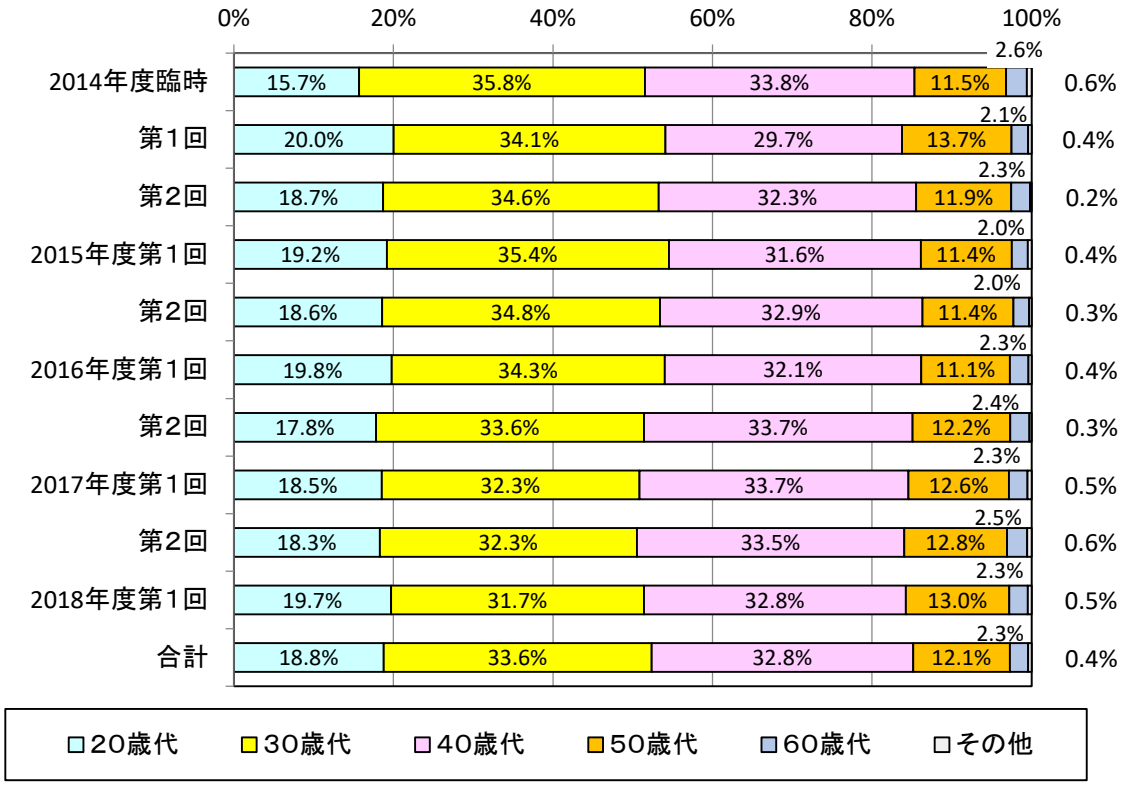
（７）申請者の年齢と合否

運行管理者試験の合格者の年齢と合否についてみてみる。

過去 10 回の[貨物]試験における合格者の平均年齢は 39.0 歳であり、各回においても、38～39 歳と平均年齢に大きな変化はみられない。年齢構成としては、30 歳代および 40 歳代がそれぞれ申請者全体の約１／３を占めており、20 歳代が 18～20%であり、50 歳代は 11～13%程度を占めている。

合格率をみると、20 歳代、50 歳代、60 歳代においては、全体の合格率を上回る傾向にある。

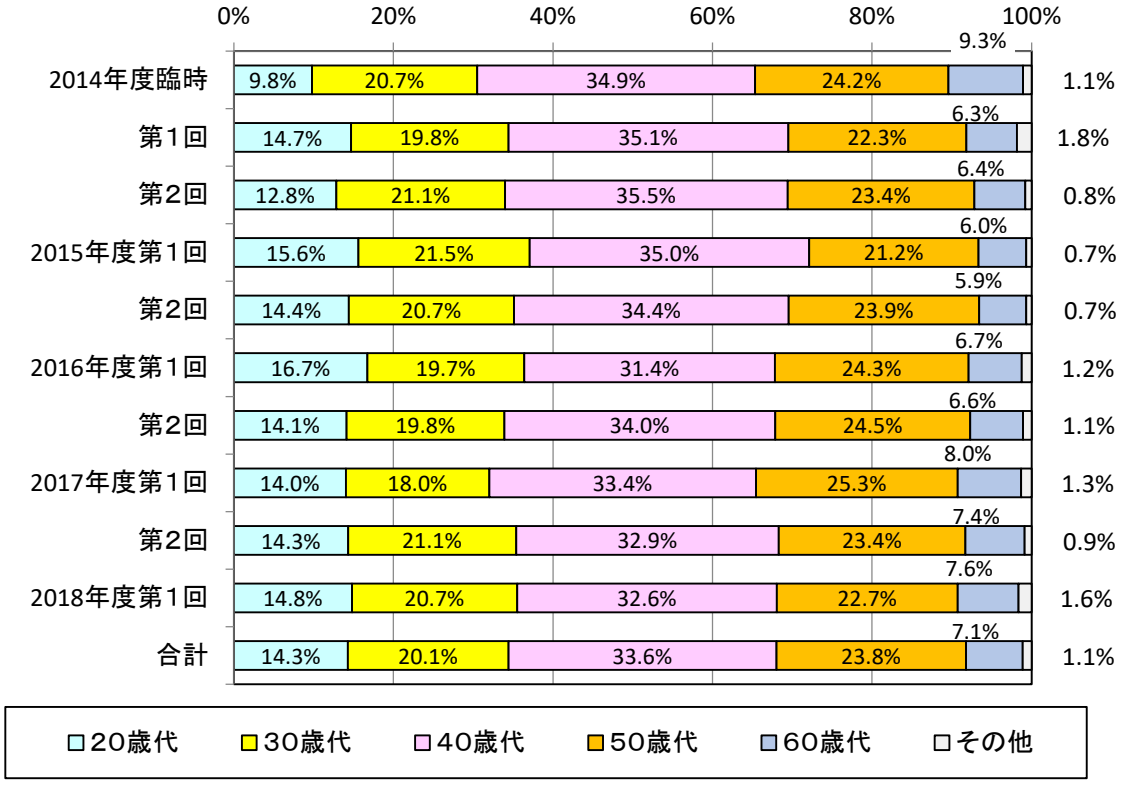
図３－７－１　合格者の年齢構成[貨物]



過去 10 回の[旅客]試験における合格者の平均年齢は 43.5 歳であり、各回においても、42～45 歳と平均年齢に大きな変化はみられない。年齢構成としては、30 歳代および 40 歳代がそれぞれ申請者全体の約１／３を占めており、20 歳代は 17～19%、50 歳代は 12%前後の割合を占めている。合格率をみると、20 歳代、30 歳代、40 歳代においては、全体の合格率を上回る傾向にある。

[貨物]試験の合格者と比較すると、[旅客]試験の合格者の年齢層は５歳程度高くなっている。

図３－７－２　合格者の年齢構成[旅客]



４．運行管理者試験の受験資格と申請者の傾向について

過去 10 回（５年分）の運行管理者試験の申請者について、受験資格ごとに、試験の種類、申請地、年齢、合否などについて整理し、受験資格と申請者の傾向について把握する。

（１）申請者の受験資格

過去 10 回の[貨物]試験における申請者の受験資格は、近年では「基礎講習修了」が最も多く、「基礎講習修了見込」と合わせると６割以上を占めている。

図４－１－１　申請者の受験資格の構成[貨物]－2014 年度－

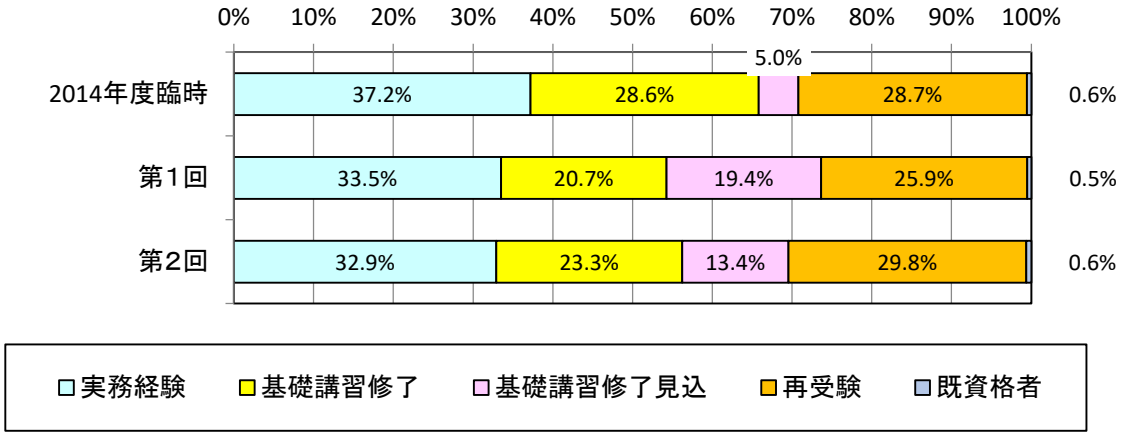
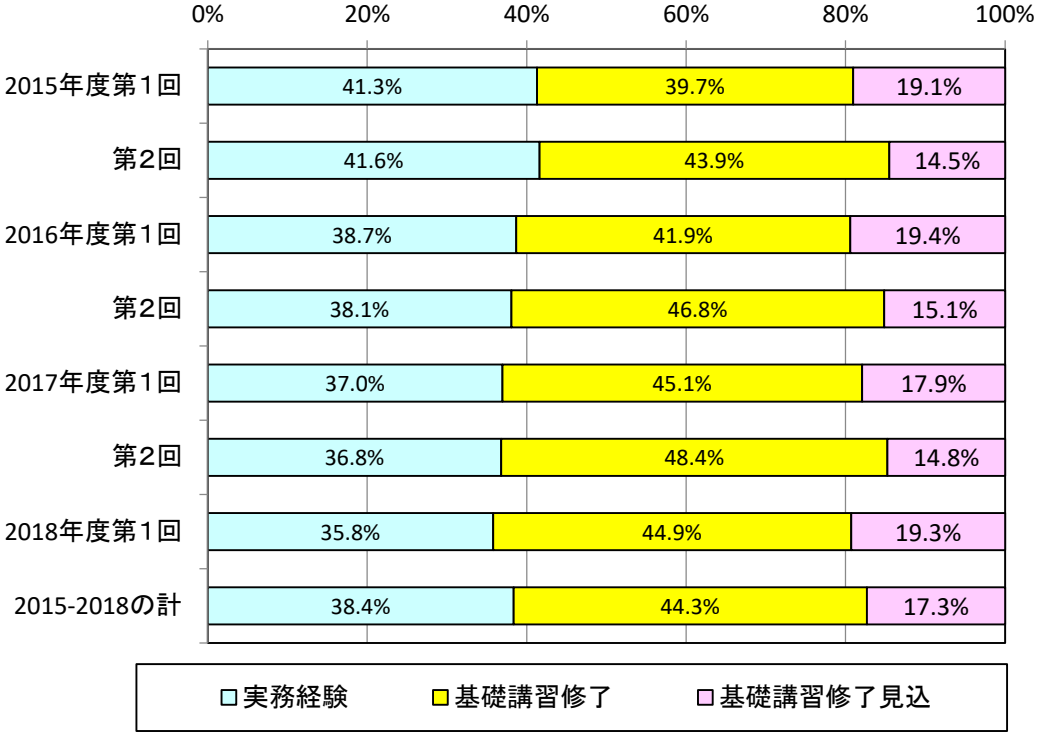


図４－１－２　申請者の受験資格の構成[貨物]－2015～2018 年度－



※2015 年度から受験資格が変更となっている

過去 10 回の[旅客]試験における申請者の受験資格は、近年では「基礎講習修了」が最も多く、「基礎講習修了見込」と合わせると 9 割以上を占めている。「実務経験」については、「貨物」試験と同様に、ここ数年減少傾向にある。

図４－１－３　申請者の受験資格の構成[旅客]
－2014 年度－

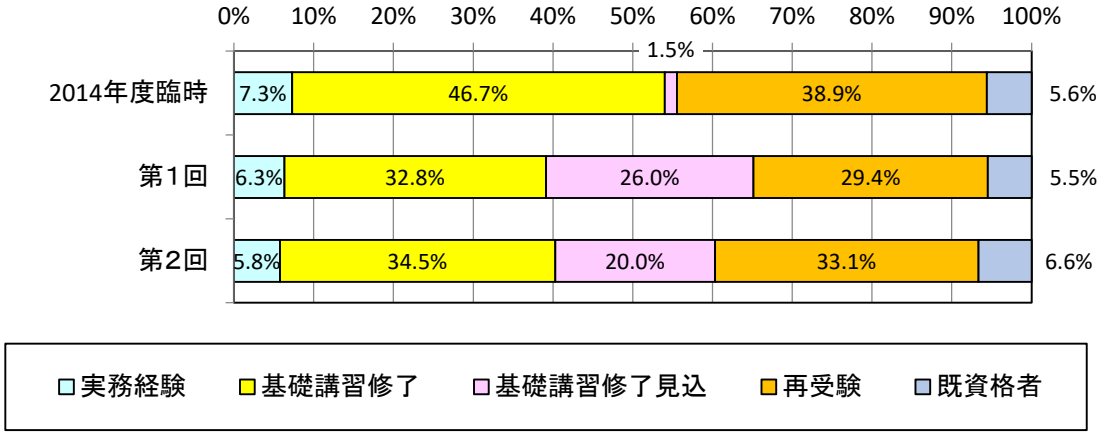
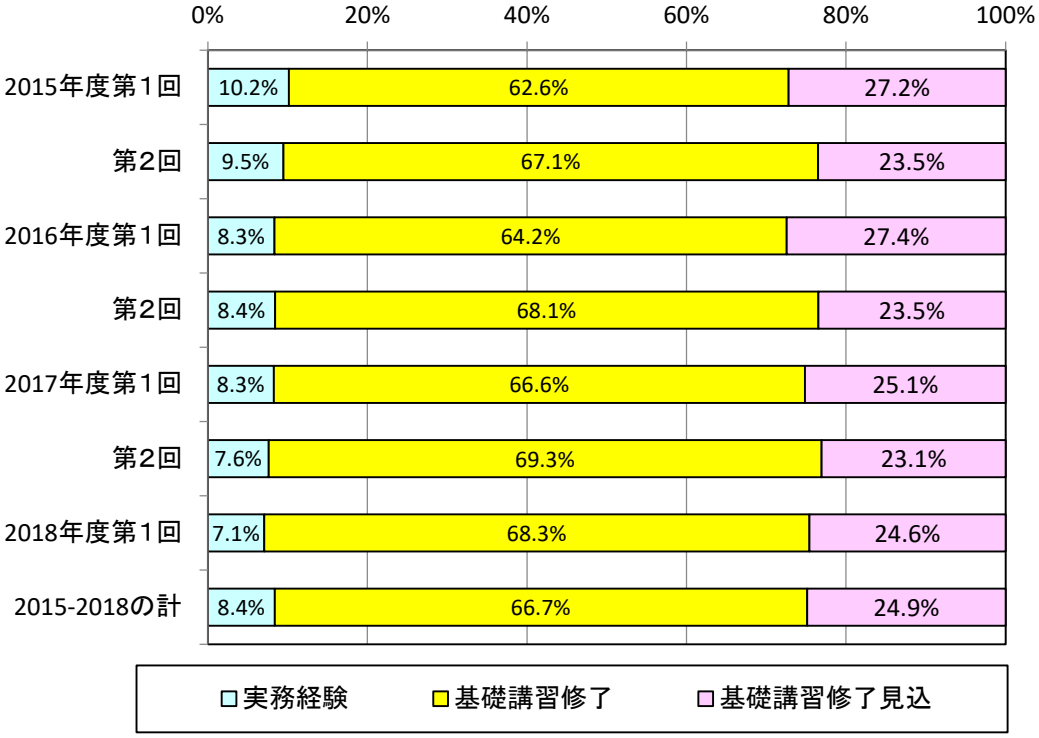


図４－１－４　申請者の受験資格の構成[旅客]
－2015～2018 年度－



※2015 年度から受験資格が変更となっている

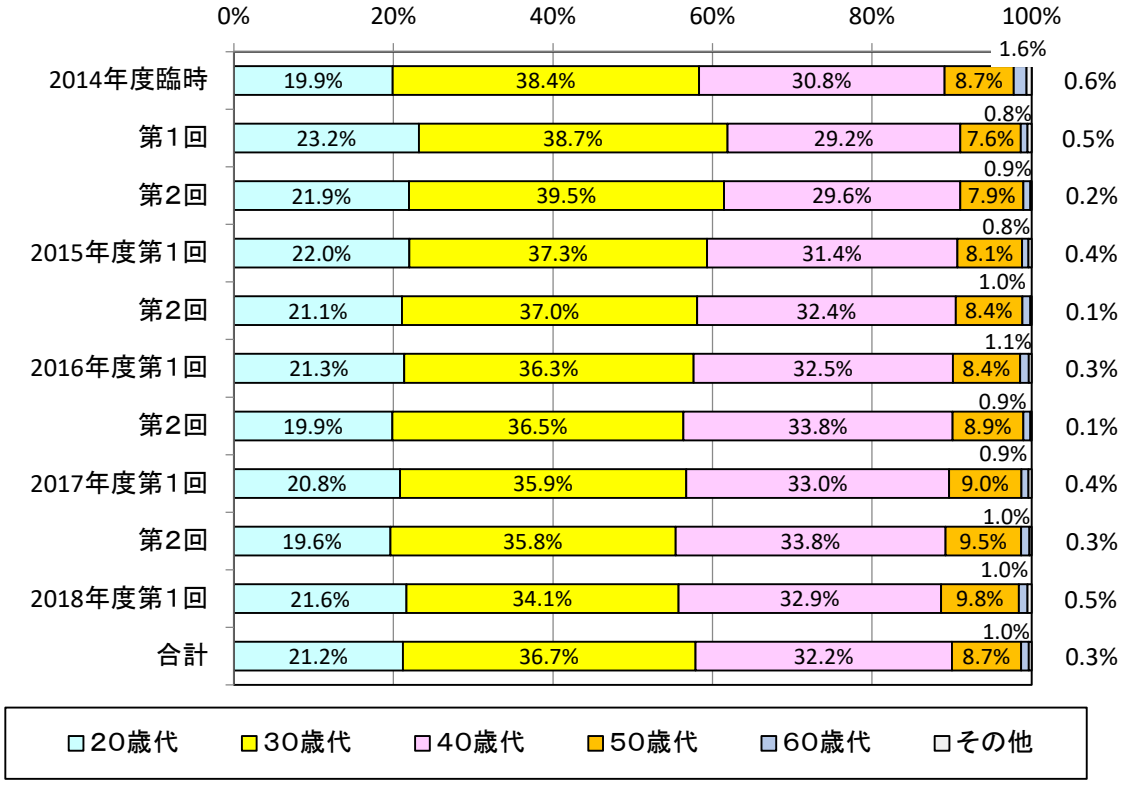
（２）受験資格と申請者の年齢

過去 10 回の[貨物]試験における申請者の受験資格ごとの年齢構成についてみてみる。

受験資格を「実務経験」としている申請者においては、30 歳代が最も多く、次いで 40 歳代が多くなっており、20 歳代、50 歳代の順となっている。

受験資格を「基礎講習（基礎講習修了と修了見込の計）」としている申請者においては、40 歳代が最も多く、次いで 30 歳代が多くなっており 20 歳代、50 歳代の順となっている。

図４－２－１　受験資格「実務経験」の年齢別の申請者数の構成[貨物]

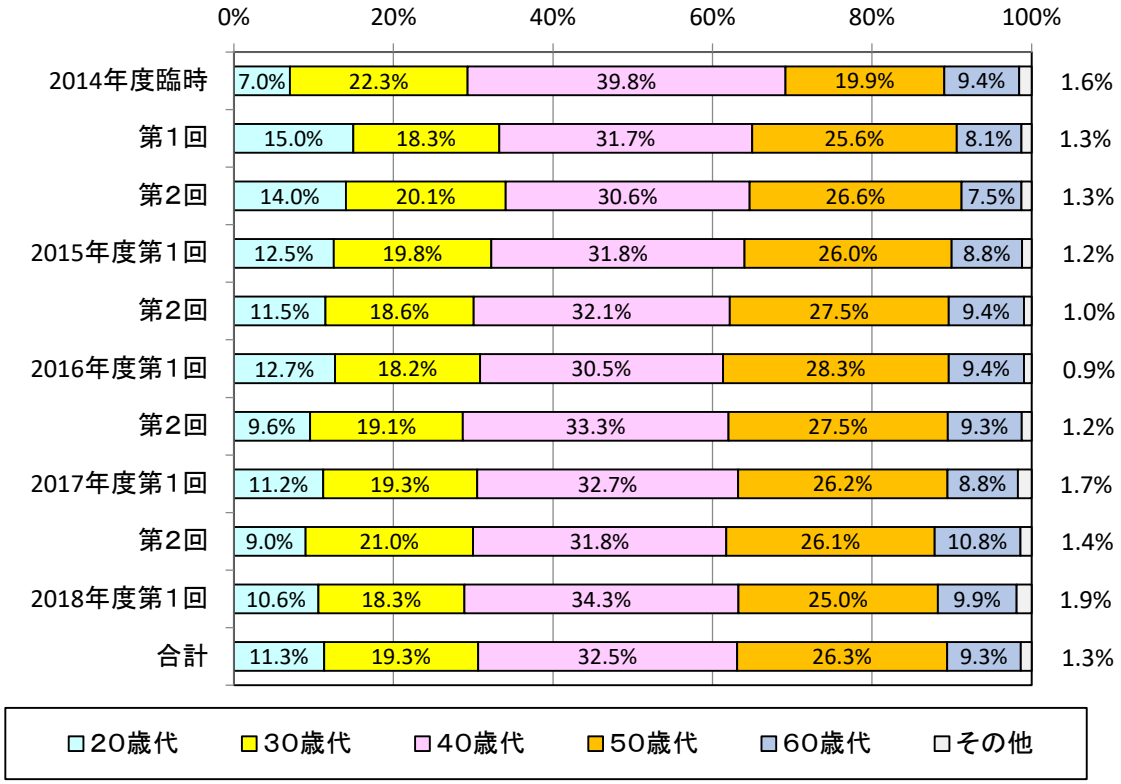


過去 10 回の[旅客]試験における申請者の受験資格ごとの年齢構成についてみてみる。

受験資格を「実務経験」としている申請者においては、40 歳代が最も多く、次いで 50 歳代が多くなっており、30 歳代、20 歳代の順となっている。

受験資格を「基礎講習（基礎講習修了と修了見込の計）」としている申請者においては、40 歳代が最も多く、次いで 50 歳代が多くなっており 30 歳代、20 歳代の順となっている。

図４－２－２　受験資格「実務経験」の年齢別の申請者数の構成[旅客]

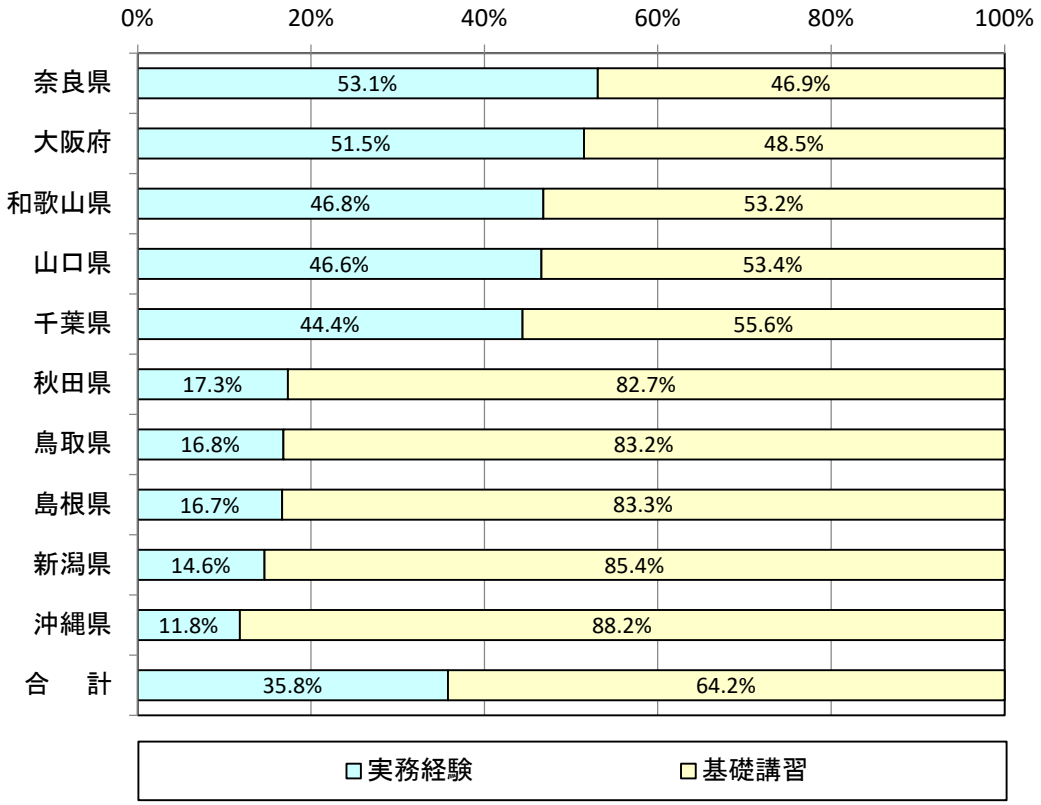


（３）受験資格と試験地

過去 10 回の[貨物]試験における試験地別にみた申請者の受験資格についてみてみる。2018 年度第１回試験における、試験地毎の申請者の受験資格の構成について、以下のグラフに示している。受験資格「実務経験」とする申請者の割合は合計では 35.8%であるの対し、最も高い試験地の奈良県では 53.1%を占めている。次いで多いのは大阪府であり 51.5%、以下、和歌山県（46.8%）、山口県（46.6%）、千葉県（44.4%）の順となっている。過去 10 回の試験の結果においても、これらの府県では「実務経験」とする申請者の割合が高くなっている。

また、受験資格「実務経験」とする申請者の割合が最も低い試験地は沖縄県であり 11.8%を占めている。次いで低いのは新潟県であり 14.6%、以下、島根県(16.7%)、鳥取県(16.8%)、秋田県（17.3%）などとなっている。

図４－３－１　運行管理者試験における試験地別にみた受験資格の申請者数構成[貨物]
－2018 年度第１回試験－



※「実務経験」を選択する申請者の割合が多い上位５府県と下位５県を表示

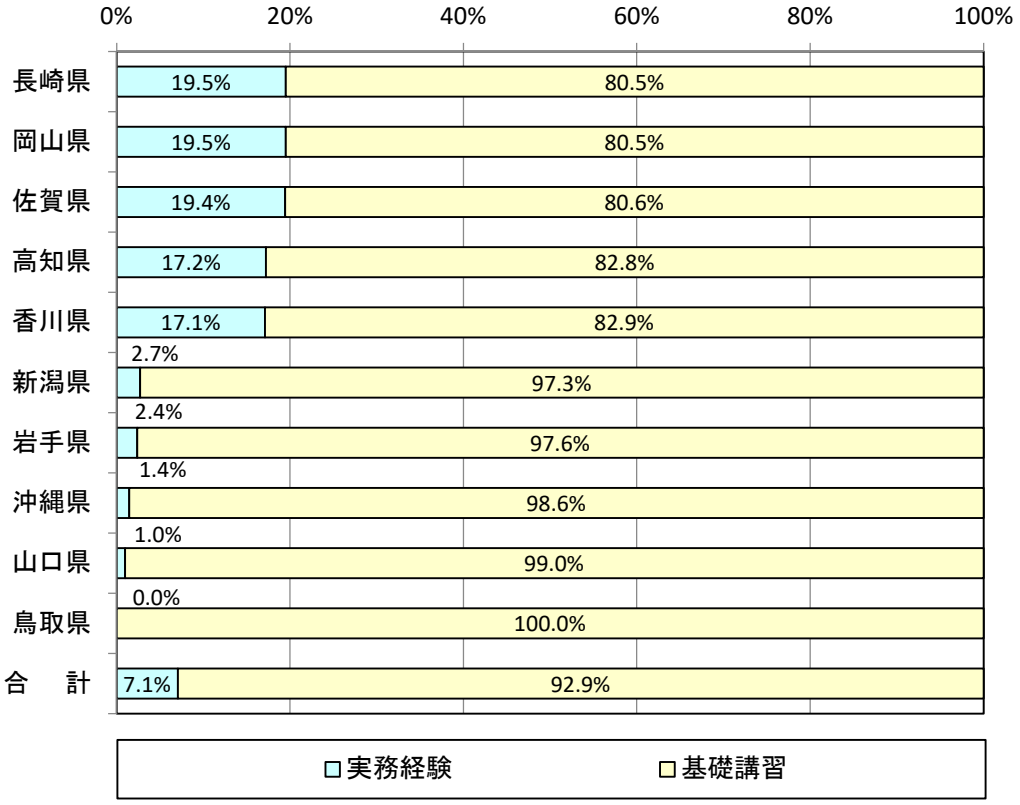
表４－３－１　過去 10 回の運行管理者試験における試験地別にみた受験資格「実務経験」である申請者の占める割合[貨物]

[貨　物]	2014年度			2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	合計
実務経験	臨時	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	
北　海　道	31.4%	26.0%	25.9%	32.2%	33.4%	29.0%	31.8%	28.1%	29.8%	26.5%	29.3%
青　森　県		18.2%	16.7%	23.8%	21.0%	20.1%	18.7%	18.9%	16.0%	19.5%	19.3%
岩　手　県		21.9%	18.7%	28.5%	27.8%	23.3%	19.9%	20.7%	22.3%	22.5%	22.9%
宮　城　県	21.0%	17.9%	16.3%	22.7%	20.6%	23.4%	19.3%	20.3%	16.9%	17.9%	19.7%
福　島　県		17.9%	16.2%	23.5%	20.9%	18.3%	21.9%	18.4%	16.9%	20.8%	19.4%
秋　田　県		22.4%	12.1%	16.1%	20.5%	22.2%	19.7%	16.2%	19.6%	17.3%	18.4%
山　形　県		25.5%	24.0%	30.5%	39.5%	33.2%	35.6%	30.6%	25.0%	22.1%	29.9%
新　潟　県	22.4%	14.2%	19.9%	18.5%	20.5%	14.8%	19.1%	18.7%	19.2%	14.6%	17.9%
長　野　県		17.2%	16.7%	24.6%	25.9%	25.6%	22.0%	21.5%	17.5%	18.9%	21.3%
茨　城　県		37.2%	33.8%	49.2%	49.3%	48.4%	50.6%	44.1%	47.2%	44.3%	45.2%
栃　木　県		30.6%	33.5%	41.8%	36.9%	33.0%	31.5%	32.2%	38.3%	29.0%	34.0%
群　馬　県		26.0%	26.8%	36.6%	32.5%	31.8%	36.0%	29.2%	30.3%	31.3%	31.2%
埼　玉　県		41.9%	39.1%	49.8%	48.3%	46.3%	44.1%	43.5%	43.1%	39.5%	44.1%
千　葉　県		36.3%	37.4%	46.8%	48.8%	43.3%	46.5%	41.9%	43.3%	44.4%	43.4%
東　京　都	35.4%	35.6%	35.3%	42.6%	41.6%	40.0%	37.9%	42.0%	41.4%	39.3%	39.2%
神奈川県		31.4%	32.4%	40.6%	42.9%	39.0%	37.4%	37.1%	34.6%	31.1%	36.5%
山　梨　県		33.7%	30.1%	32.8%	34.1%	30.5%	35.4%	23.0%	21.4%	24.5%	29.0%
富　山　県		19.8%	17.4%	22.3%	23.6%	20.5%	23.5%	26.2%	25.8%	27.8%	23.1%
石　川　県		37.6%	29.0%	37.5%	43.1%	45.9%	44.9%	39.8%	34.7%	37.6%	39.0%
福　井　県		29.2%	17.9%	31.3%	25.3%	36.8%	39.3%	36.6%	33.5%	30.7%	31.5%
岐　阜　県		29.6%	30.8%	42.0%	45.6%	34.8%	40.0%	33.2%	31.5%	35.6%	36.1%
静　岡　県		29.3%	31.9%	42.2%	42.3%	45.2%	37.5%	38.9%	31.9%	32.0%	37.1%
愛　知　県	35.2%	36.1%	35.7%	49.0%	51.1%	45.8%	41.4%	42.3%	37.1%	42.4%	42.1%
三　重　県		31.3%	28.6%	38.3%	33.0%	36.6%	35.6%	31.4%	32.6%	31.8%	33.4%
滋　賀　県		29.5%	32.6%	41.7%	42.3%	38.5%	39.6%	37.9%	42.2%	42.5%	38.8%
京　都　府		43.9%	41.0%	52.7%	50.0%	47.0%	47.6%	42.9%	45.1%	43.4%	46.0%
大　阪　府	50.7%	50.0%	46.5%	57.2%	54.9%	53.7%	51.1%	51.4%	54.1%	51.5%	52.2%
兵　庫　県		35.8%	33.9%	39.1%	41.2%	37.6%	37.5%	38.3%	40.7%	36.4%	37.9%
奈　良　県		44.8%	41.3%	54.1%	49.8%	42.6%	48.7%	54.5%	51.9%	53.1%	49.1%
和歌山県		37.6%	41.4%	46.0%	44.8%	48.0%	39.3%	41.0%	44.5%	46.8%	43.5%
鳥　取　県		11.1%	11.4%	16.2%	27.5%	14.4%	13.7%	15.0%	20.0%	16.8%	16.1%
島　根　県		26.3%	23.7%	29.4%	32.2%	20.6%	20.5%	20.3%	18.7%	16.7%	23.0%
岡　山　県		36.2%	32.7%	44.3%	42.6%	43.2%	37.9%	44.2%	39.0%	41.1%	40.5%
広　島　県	36.4%	37.8%	37.9%	52.0%	48.2%	45.3%	42.0%	43.1%	41.8%	42.0%	43.0%
山　口　県		37.3%	34.3%	42.6%	46.4%	43.8%	40.5%	40.5%	43.4%	46.6%	41.9%
徳　島　県		50.5%	39.8%	45.6%	44.3%	40.5%	46.7%	33.1%	35.9%	30.9%	40.0%
香　川　県	33.9%	44.0%	36.8%	38.6%	36.0%	39.5%	43.9%	38.4%	43.5%	35.8%	38.8%
愛　媛　県		37.4%	34.1%	44.7%	44.5%	38.5%	35.3%	33.5%	30.7%	31.8%	36.7%
高　知　県		21.6%	27.9%	18.4%	24.8%	21.1%	26.3%	20.8%	18.5%	24.3%	22.5%
福　岡　県	38.4%	29.1%	33.9%	38.9%	43.3%	35.4%	35.3%	33.7%	36.9%	35.9%	36.1%
佐　賀　県		38.5%	40.2%	32.2%	30.4%	30.2%	32.5%	34.5%	27.8%	24.9%	32.0%
長　崎　県		28.9%	22.9%	20.2%	21.5%	15.3%	20.8%	18.6%	20.8%	22.0%	21.1%
熊　本　県		41.8%	39.8%	48.9%	45.6%	35.7%	39.1%	39.8%	36.2%	34.4%	39.8%
大　分　県		31.0%	34.5%	21.7%	30.0%	25.2%	25.9%	31.0%	33.8%	28.4%	29.0%
宮　崎　県		35.1%	28.5%	34.2%	38.6%	41.8%	36.9%	29.7%	38.3%	30.6%	34.8%
鹿児島県		28.3%	29.0%	30.1%	34.1%	29.7%	30.9%	25.5%	31.5%	28.2%	29.5%
沖　縄　県	26.4%	14.9%	11.9%	23.2%	24.0%	17.6%	24.6%	15.9%	15.1%	11.8%	17.9%
合　　計	37.2%	33.5%	32.9%	41.3%	41.6%	38.7%	38.1%	37.0%	36.8%	35.8%	37.4%

過去 10 回の[旅客]試験における試験地別にみた申請者の受験資格の構成についてみてみる。2018 年度第１回試験における、試験地毎の申請者の受験資格の構成について、以下のグラフに示している。受験資格「実務経験」とする申請者の割合は合計では 7.1%であるの対し、最も高い試験地の長崎県では 19.5%を占めている。次いで多いのは岡山県であり 19.5%、以下、佐賀県（19.4%）、高知県（17.2%）、香川県（17.1%）の順となっている。過去 10 回の試験の結果においても、これらの県では「実務経験」とする申請者の割合が高くなっている。

また、鳥取県では受験資格「実務経験」とする申請者がゼロである。また、山口県では受験資格「実務経験」とする申請者は 1.0%であり、以下、沖縄県（1.4%）、岩手県（2.4%）、新潟県（2.7%）の順となっている。

図４－３－２　運行管理者試験における試験地別にみた受験資格の申請者数構成[旅客]
－2018 年度第１回試験－



※「実務経験」を選択する申請者の割合が多い上位５県と下位５県を表示

表４－３－２　過去 10 回の運行管理者試験における試験地別にみた受験資格「実務経験」である申請者の占める割合[旅客]

[旅　客]	2014年度			2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	合計
実務経験	臨時	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	第２回	第１回	
北　海　道	6.4%	7.1%	5.2%	11.8%	7.3%	7.8%	10.5%	11.6%	10.6%	8.0%	9.1%
青　森　県		5.6%	5.1%	13.5%	10.3%	12.1%	15.3%	7.8%	6.3%	5.3%	9.0%
岩　手　県		1.4%		3.6%	5.1%	3.7%	4.4%	4.5%	4.6%	2.4%	3.5%
宮　城　県	5.0%	2.2%	2.9%	8.3%	4.8%	12.6%	9.5%	6.2%	6.4%	4.2%	6.4%
福　島　県		6.8%	8.2%	10.6%	5.0%	6.0%	3.7%	1.2%	7.4%	3.2%	5.4%
秋　田　県		7.9%	2.0%	4.2%	12.7%	2.1%	15.4%	12.2%		5.0%	7.0%
山　形　県		4.1%	6.5%	11.6%	13.9%	6.8%	9.6%	14.1%	11.1%	10.1%	10.2%
新　潟　県	8.4%	8.1%	2.3%	8.2%	6.2%	3.9%	1.4%	2.6%	3.8%	2.7%	4.5%
長　野　県		1.2%	1.8%	6.6%	4.5%	6.5%	3.0%	5.0%	4.3%	6.1%	4.3%
茨　城　県		4.8%	13.5%	17.9%	15.1%	9.6%	11.6%	9.2%	9.3%	7.5%	10.6%
栃　木　県		8.3%	6.7%	8.7%	6.3%	11.4%	16.2%	18.5%	11.6%	14.4%	12.2%
群　馬　県		3.7%	7.6%	21.3%	18.0%	11.5%	11.6%	9.6%	5.1%	4.3%	10.1%
埼　玉　県		10.3%	7.0%	5.8%	7.7%	7.0%	6.5%	7.6%	7.3%	7.8%	7.4%
千　葉　県		1.2%	4.3%	9.6%	8.8%	6.6%	7.1%	6.5%	4.7%	4.2%	6.0%
東　京　都	7.4%	7.4%	6.5%	8.7%	7.3%	5.6%	7.4%	7.9%	6.1%	6.2%	7.0%
神奈川県		4.4%	4.4%	11.0%	11.1%	5.8%	7.1%	5.0%	7.3%	5.1%	6.7%
山　梨　県		5.8%	10.8%	11.6%	11.4%	8.6%	9.7%	10.1%	12.6%	11.1%	10.3%
富　山　県		10.9%	12.3%	4.2%	8.8%	9.0%	6.5%	15.0%	5.1%	5.4%	8.7%
石　川　県		18.6%	2.7%	9.5%	6.7%	9.5%	13.0%	12.5%	4.1%	8.5%	9.5%
福　井　県		6.7%		12.0%	20.8%	11.9%	12.8%	14.5%	9.8%	9.1%	10.6%
岐　阜　県		1.8%	0.9%	4.5%		1.5%	2.2%	8.2%	2.2%	5.4%	3.3%
静　岡　県		1.9%	5.2%	6.9%	5.5%	3.9%	3.9%	3.4%	4.1%	6.3%	4.5%
愛　知　県	7.6%	6.3%	6.0%	10.4%	8.0%	9.5%	8.0%	5.8%	6.2%	5.6%	7.3%
三　重　県			6.0%	13.7%	14.3%	7.3%	9.2%	6.3%	10.7%	7.0%	8.5%
滋　賀　県		5.8%	3.8%	9.1%	11.1%	8.8%	12.6%	5.9%	5.9%	4.4%	7.3%
京　都　府		13.9%	6.9%	5.6%	4.9%	6.9%	6.9%	5.1%	13.7%	8.9%	8.0%
大　阪　府	6.1%	5.0%	4.7%	9.1%	12.4%	9.3%	5.5%	7.7%	5.3%	5.9%	7.1%
兵　庫　県		9.5%	8.7%	16.5%	12.3%	11.9%	14.3%	14.0%	14.6%	10.0%	12.5%
奈　良　県		5.8%	1.1%	7.5%	7.9%	12.0%	10.5%	10.0%	3.5%	4.4%	7.1%
和歌山県		12.3%	7.3%	3.3%	34.6%	21.8%	14.5%	10.6%	12.5%	8.9%	14.3%
鳥　取　県		5.0%	4.0%	14.3%	3.8%		5.3%	4.7%	3.3%		4.1%
島　根　県		1.7%	1.5%	6.0%	5.7%	5.4%	2.3%	6.3%	3.6%	6.1%	4.4%
岡　山　県		6.3%	6.4%	20.1%	20.9%	17.2%	18.8%	18.3%	15.9%	19.5%	16.3%
広　島　県	6.8%	5.2%	3.2%	3.0%	2.2%	5.9%	7.9%	5.9%	7.8%	5.9%	5.5%
山　口　県		3.7%	3.1%	11.0%	4.5%	9.8%	5.0%	6.3%	5.2%	1.0%	5.7%
徳　島　県											
香　川　県	13.3%	4.0%	7.2%	9.5%	16.9%	9.7%	10.7%	13.6%	15.4%	17.1%	12.5%
愛　媛　県		10.0%	13.0%	21.4%	18.9%	11.8%	24.2%	12.0%	4.4%	3.4%	13.0%
高　知　県			6.5%	3.1%	9.5%				7.9%	17.2%	4.7%
福　岡　県	8.8%	6.4%	5.1%	9.5%	12.6%	13.5%	8.4%	9.0%	8.5%	10.5%	9.4%
佐　賀　県		4.8%	9.8%	19.6%	13.5%	10.5%	25.0%	13.0%	6.3%	19.4%	13.7%
長　崎　県		18.6%	13.5%	22.5%	26.8%	15.9%	17.4%	15.3%	20.6%	19.5%	18.5%
熊　本　県		12.4%	17.7%	25.2%	14.3%	19.7%	11.5%	15.7%	16.5%	10.2%	15.8%
大　分　県		3.9%		10.2%	5.8%	15.4%	8.5%	3.9%	2.6%	5.5%	6.2%
宮　崎　県		3.6%	4.5%	9.1%	10.3%	8.0%		6.3%	7.1%	5.8%	6.2%
鹿児島県		8.6%	4.3%	3.5%	7.8%	9.5%	7.4%	9.3%	6.4%	6.6%	7.2%
沖　縄　県	7.4%	5.7%	3.5%	3.6%	5.4%	5.9%	2.2%	2.3%	2.5%	1.4%	3.5%
合　　計	7.3%	6.3%	5.8%	10.2%	9.5%	8.3%	8.4%	8.3%	7.6%	7.1%	7.9%

（４）受験資格と合否

過去 10 回の[貨物]試験における申請者の受験資格別にみた試験への出席／欠席および試験結果（合格／不合格）についてみてみる。受験資格「実務経験」とする申請者の試験結果について、以下のグラフに示している。2018 年度第 1 回試験においては、受験資格「実務経験」とする申請者のうち合格者は 22.1%を占めているが、試験回毎にばらつきがみられる。

受験資格毎に合格率をみると、「実務経験」の受験者においては、2018 年度第 1 回試験においては 24.8%であり、過去 10 回の平均でも 24.5%である。「基礎講習」の受験者においては、2018 年度第 1 回試験においては 30.8%であり、過去 10 回の平均でも 31.7%である。おおむね、「基礎講習」とする受験者の合格率が「実務経験」を上回っている。

図４－４－１　受験資格[実務経験]の申請者における出欠・合否[貨物]

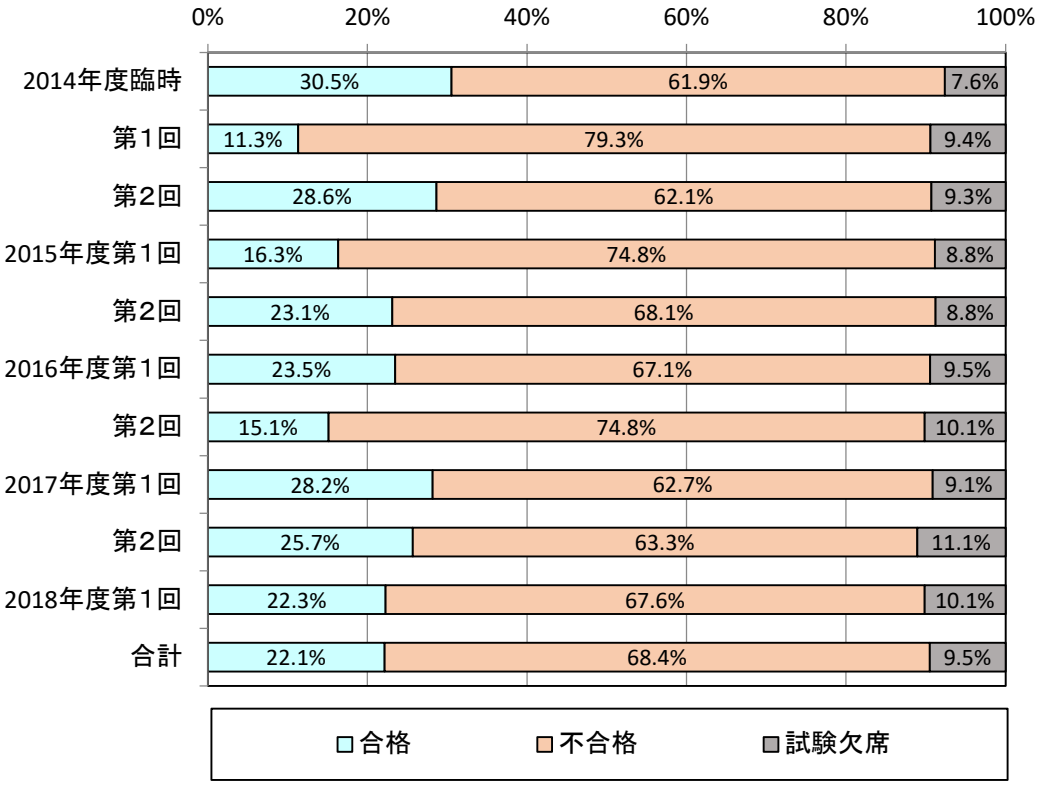


図４－４－２　受験資格[基礎講習]の申請者における出欠・合否[貨物]

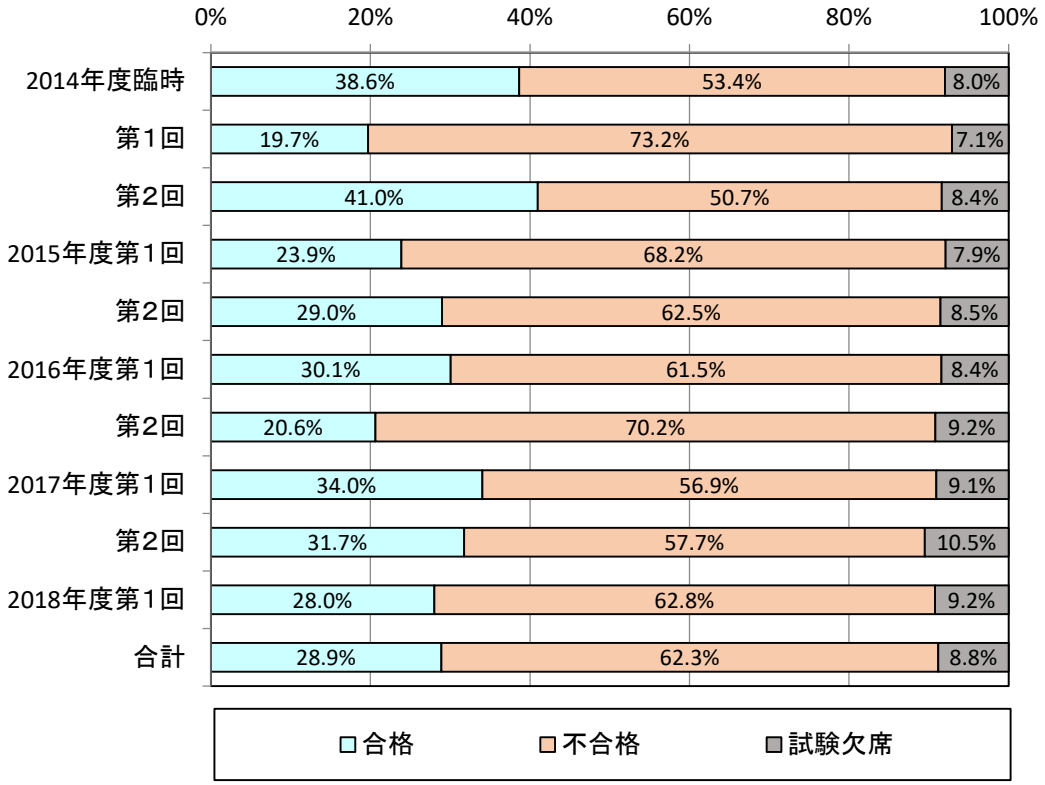
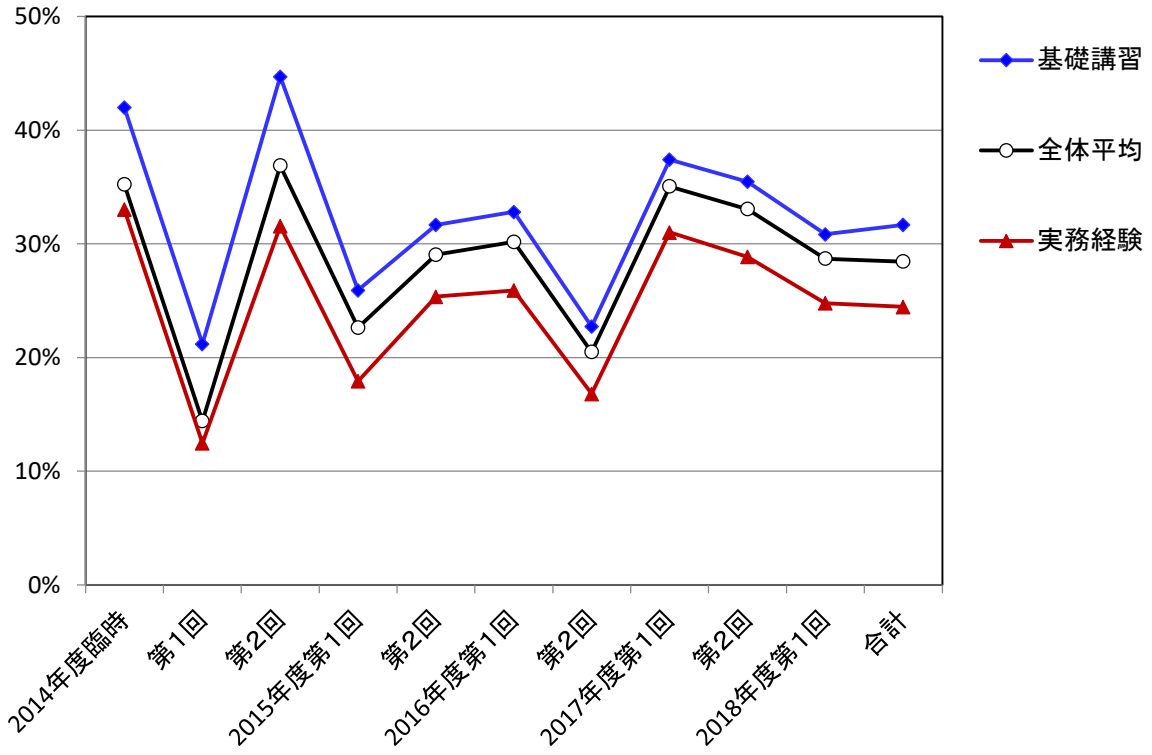


図４－４－３　受験資格と合格率の推移[貨物]



過去 10 回の[旅客]試験における申請者の受験資格別にみた試験への出席／欠席および試験結果（合格／不合格）についてみてみる。受験資格「実務経験」とする申請者の試験結果について、以下のグラフに示している。2018 年度第 1 回試験においては、受験資格「実務経験」とする申請者のうち合格者は 27.6%を占めているが、試験回毎にばらつきがみられる。

受験資格毎に合格率をみると、「実務経験」の受験者においては、2018 年度第 1 回試験においては 30.1%であり、過去 10 回の平均でも 29.3%である。「基礎講習」の受験者においては、2018 年度第 1 回試験においては 31.9%であり、過去 10 回の平均でも 31.5%である。おおむね、「基礎講習」とする受験者の合格率が「実務経験」を上回っているが、[貨物]試験と比較すると合格率の差は小さい。

図４－４－２　受験資格[実務経験]の申請者における出欠・合否[旅客]

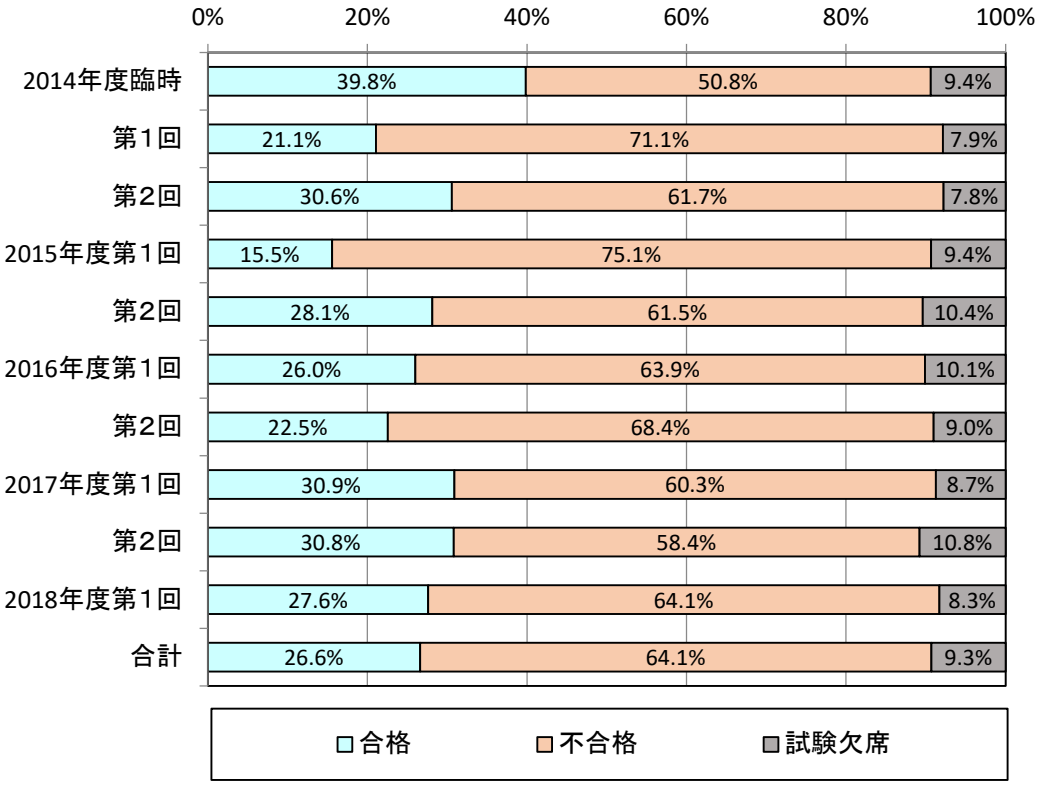


図４－４－５　受験資格［基礎講習］の申請者における出欠・合否［旅客］

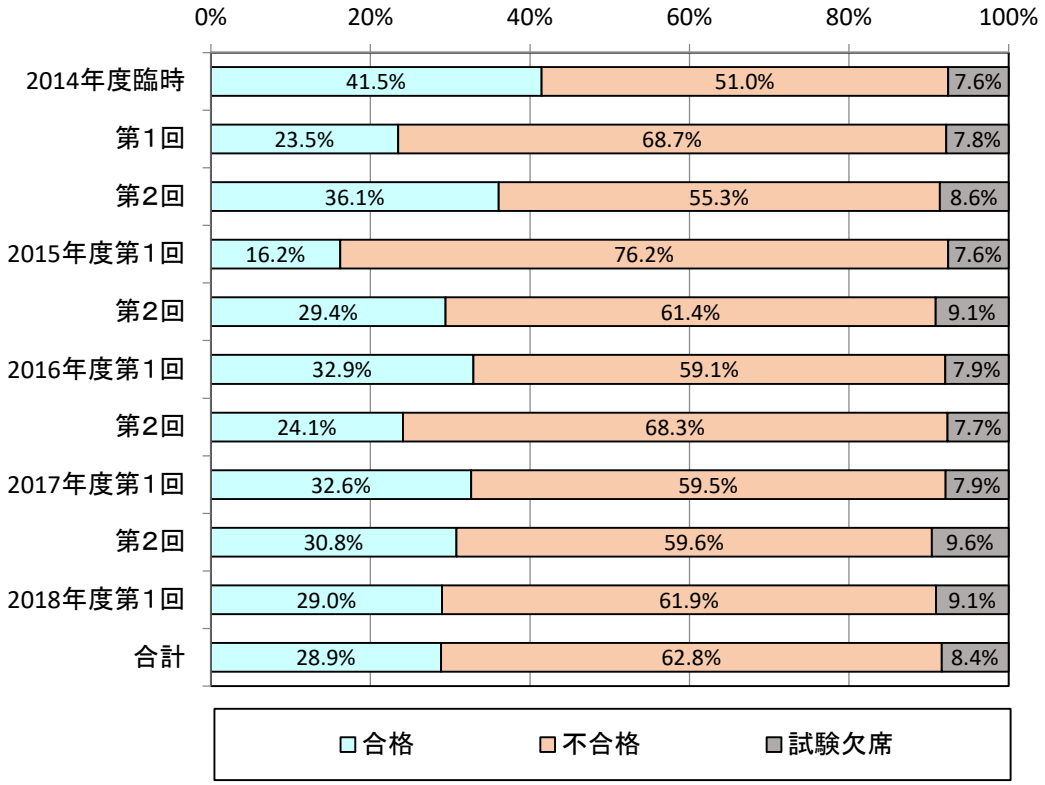
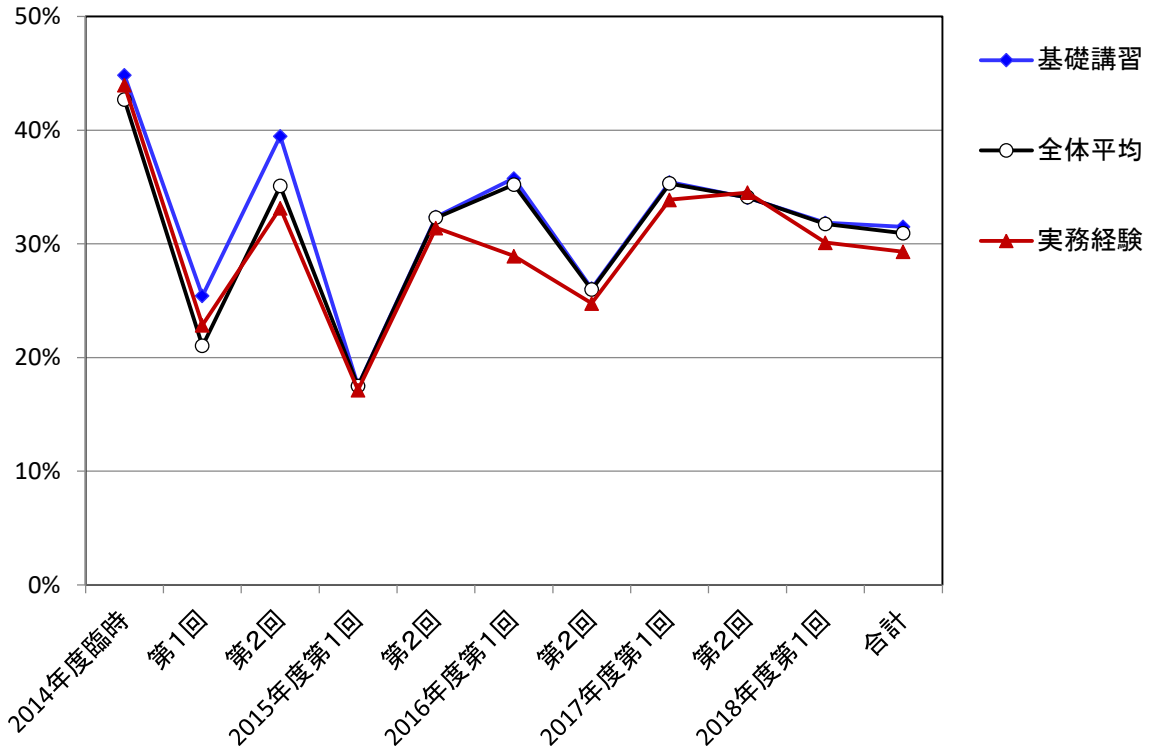


図４－４－６　受験資格と合格率の推移［旅客］



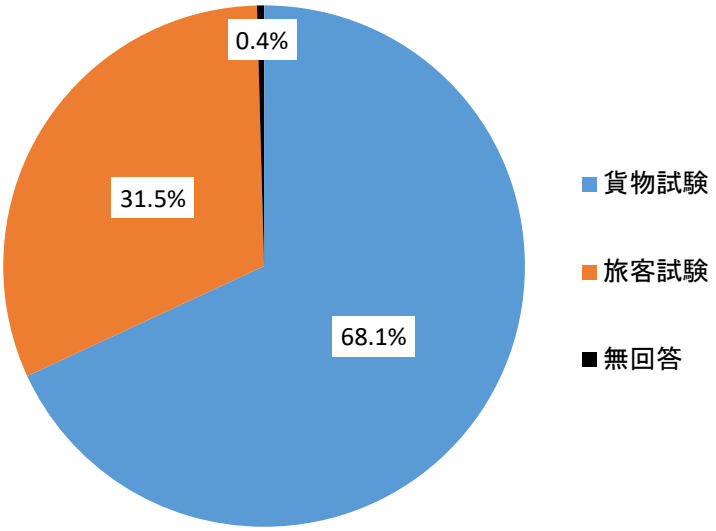
５．運行管理者試験の申請者へのアンケート調査結果

2018 年度第２回試験の申請者（個人）を対象に、利便性向上についてのアンケート調査を実施している。アンケートの方法は、運行管理者試験の受験申請書に同封したアンケート葉書に記入して郵送による返送する方法、および、運行管理者試験センターのＨＰからダウンロードしたアンケート調査用紙に記入してＦＡＸにより返送する方法、の二通りの調査方法により実施した。なお、アンケートの設問および回答選択肢について、同じ内容である。これにより 2,305 名から回答を得ている。ここではアンケートの結果について整理する。

（１）申請する試験の種別について（問１）

申請する試験の種別としては、「貨物試験」が 1,569 名で回答者全体の 68.1%を占めており、「旅客試験」は 726 名で 31.5%を占めている。

図５－１－１　申請する試験の種別について

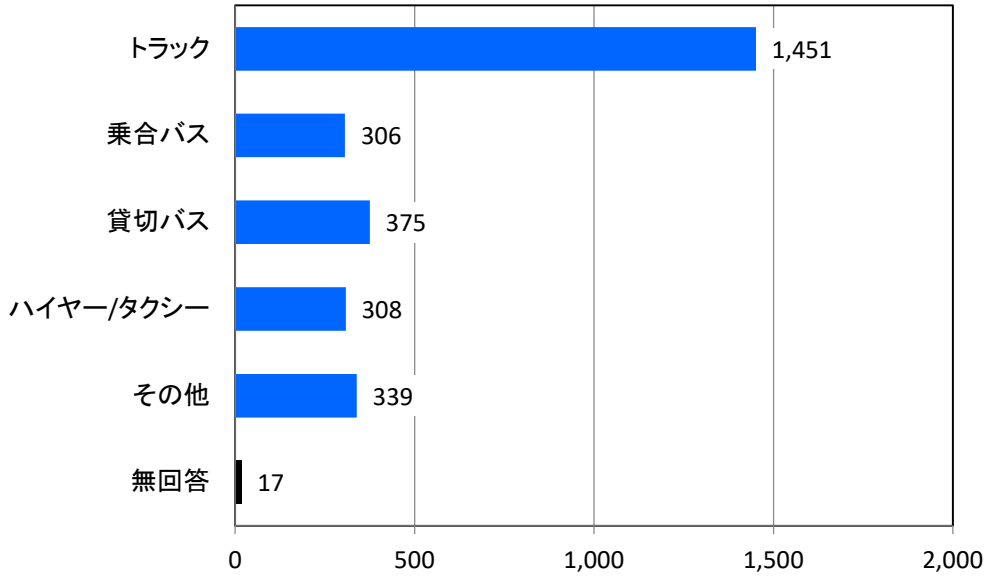


（２）従事する事業の区分について

従事する事業の区分としては、「トラック」との回答が最も多く 1,451 件であり、回答者全体の 63.0%は「トラック事業に従事している」との回答である。次いで多いのが「貸切バス」であり 375 件となっている。「ハイヤー／タクシー」との回答は 308 件、「乗合バス」との回答は 306 件であった。

※この設問は複数の回答が可能となっている。

図５－２－１　従事する事業の区分（複数回答可）

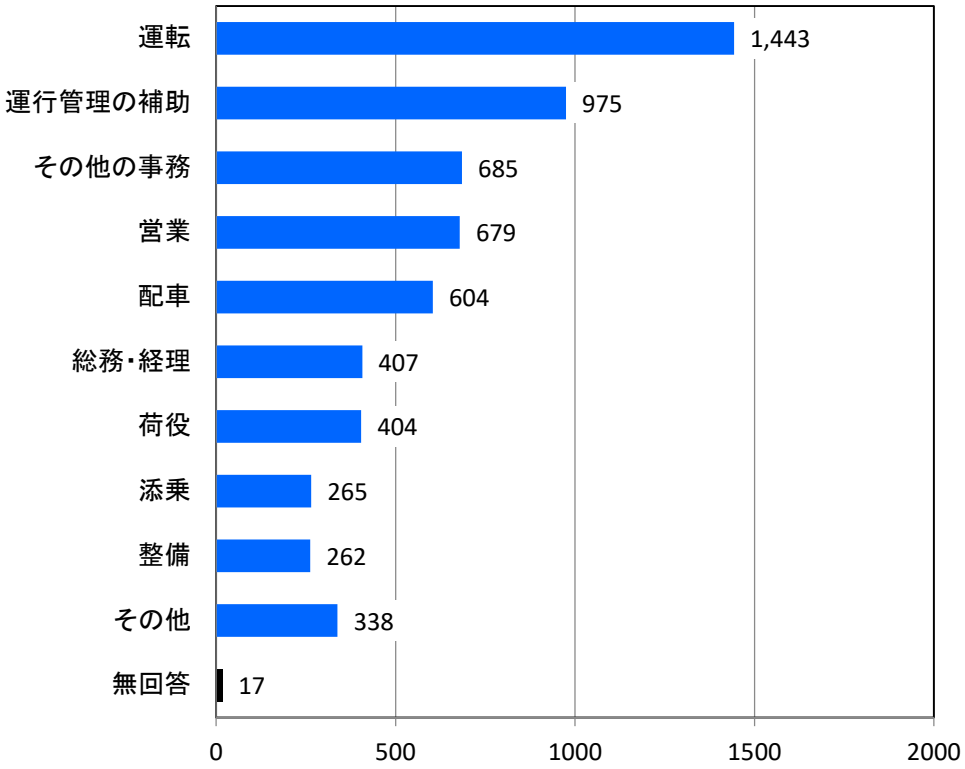


（３）これまで従事した主な業務について

これまでに従事した主な業務としては、「運転」との回答が最も多く 1,443 件であり、回答者全体の６割強を占めている。次いで多いのが「運行管理の補助」であり 975 件となっている。以下、「その他の事務」、「営業」、「配車」などの順となっている。

※この設問は複数の回答が可能となっている。

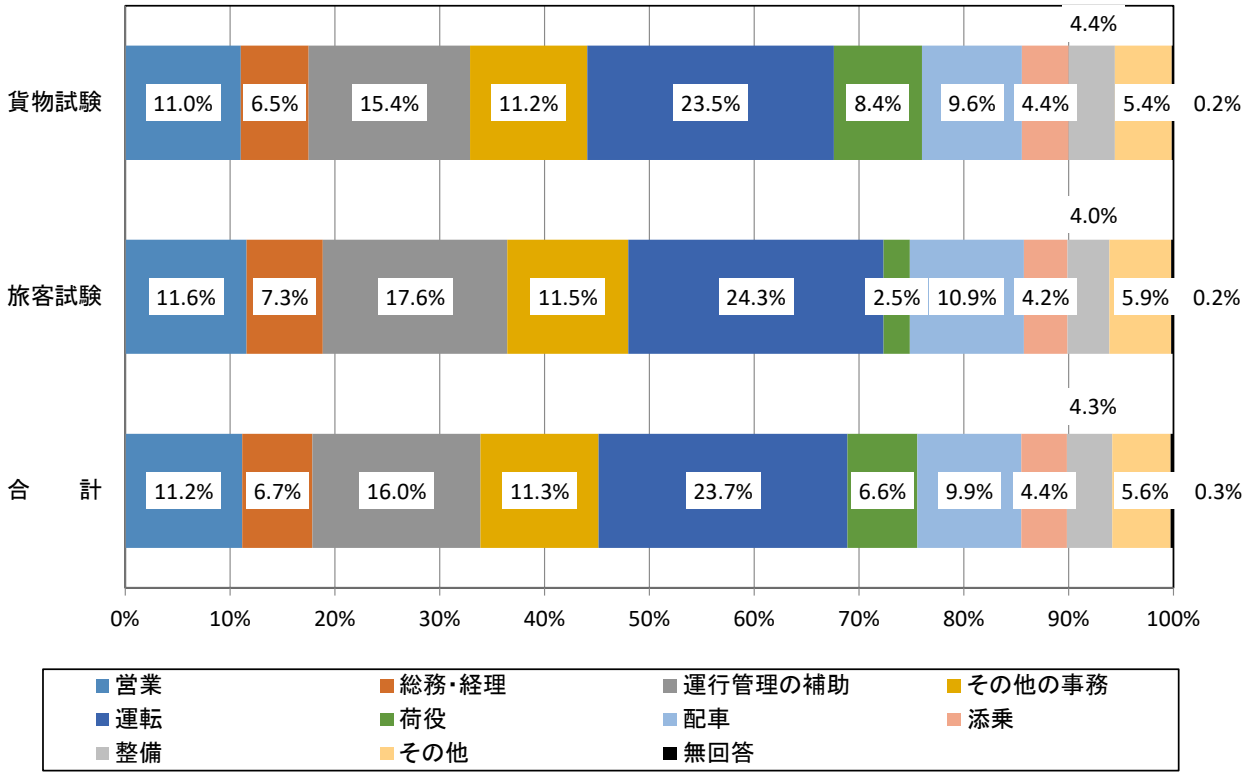
図５－３－１　これまで従事した主な業務について（複数回答可）



申請する試験の種別を［貨物試験］としている回答者においては、「運転」との回答が最も多く 995 件であり、回答全体の 23.5%を占めている。次いで多いのが「運行管理の補助」であり 651 件で 15.4%を占めている。以下、「その他の事務」、「営業」、「配車」などの順となっている。

申請する試験の種別を［旅客試験］としている回答者においては、「運転」との回答が最も多く 445 件であり、回答全体の 24.3%を占めている。次いで多いのが「運行管理の補助」であり 322 件で 17.6%を占めている。以下、「営業」、「その他の事務」、「配車」、「総務・経理」、「添乗」、「整備」などの順となっている。

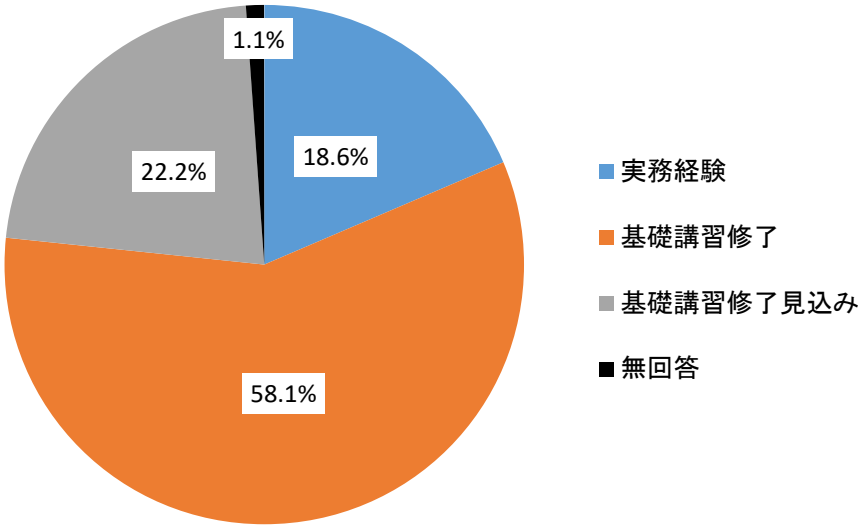
図５－３－２　申請する試験の種別とこれまで従事した主な業務について（複数回答可）



（４）申請する受験資格について

申請する受験資格としては、「基礎講習修了」が最も多く 1,339 名であり回答者全体の 58.1%を占めている。次いで多いのは「基礎講習修了見込み」の 512 名で 22.2%を占めており、「実務経験」は 428 名で 18.6%となっている。

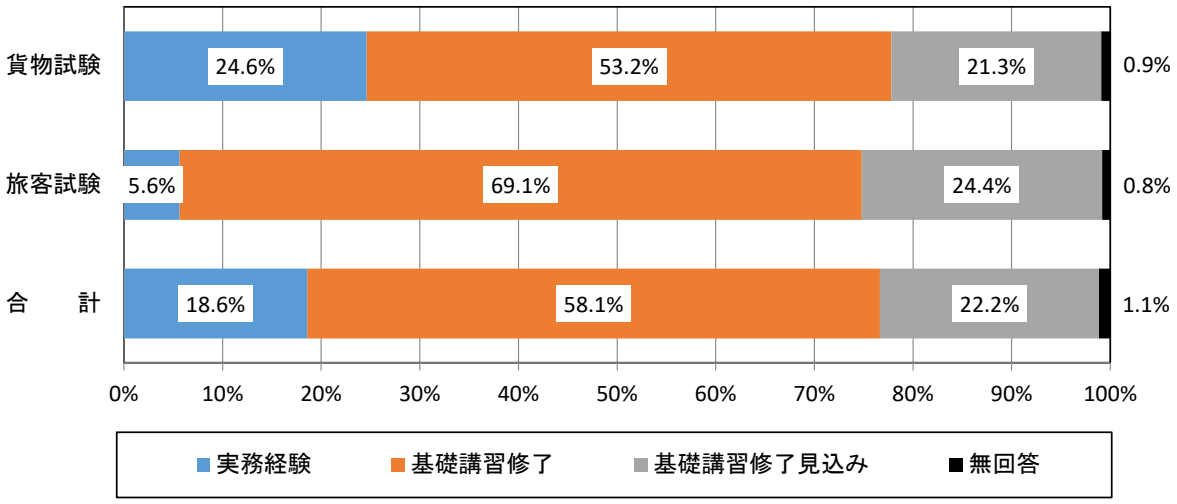
図５－４－１　申請する受験資格について



申請する試験の種別を［貨物試験］としている回答者においては、申請する受験資格を「基礎講習修了」とする回答者は 835 名で 53.2%を占めており、「基礎講習修了見込み」は 334 名で 21.3%を占めており、「実務経験」は 386 名で 24.6%となっている。

申請する試験の種別を［旅客試験］としている回答者においては、申請する受験資格を「基礎講習修了」とする回答者は 502 名で 69.1%を占めており、「基礎講習修了見込み」は 177 名で 24.4%を占めており、「実務経験」は 41 名で 5.6%となっている。

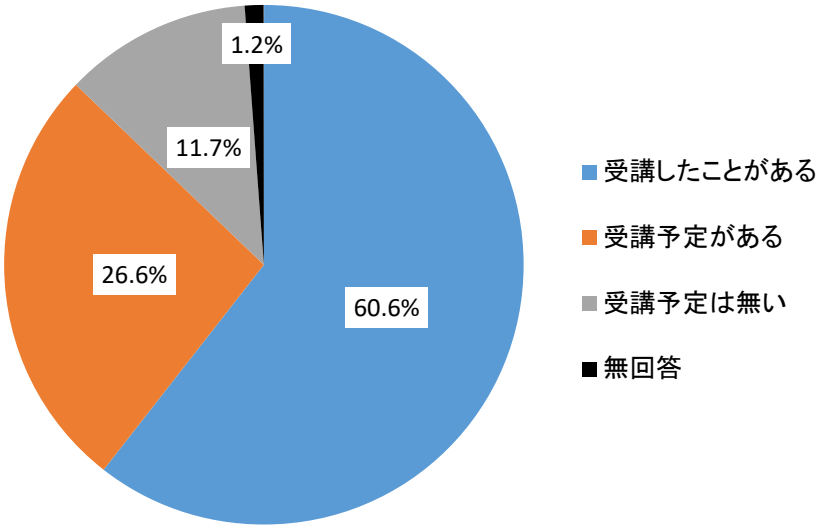
図５－４－２　申請する試験の種別と受験資格について



（５）基礎講習の受講経験について

基礎講習の受講経験として、「受講したことがある」との回答は 1,396 名であり、回答者全体の６割強においては基礎講習の受講経験がある。「受講予定がある」は 613 名で全体の 26.6%であり、「受講予定は無い」との回答は 269 名で全体の 11.7%となっている。

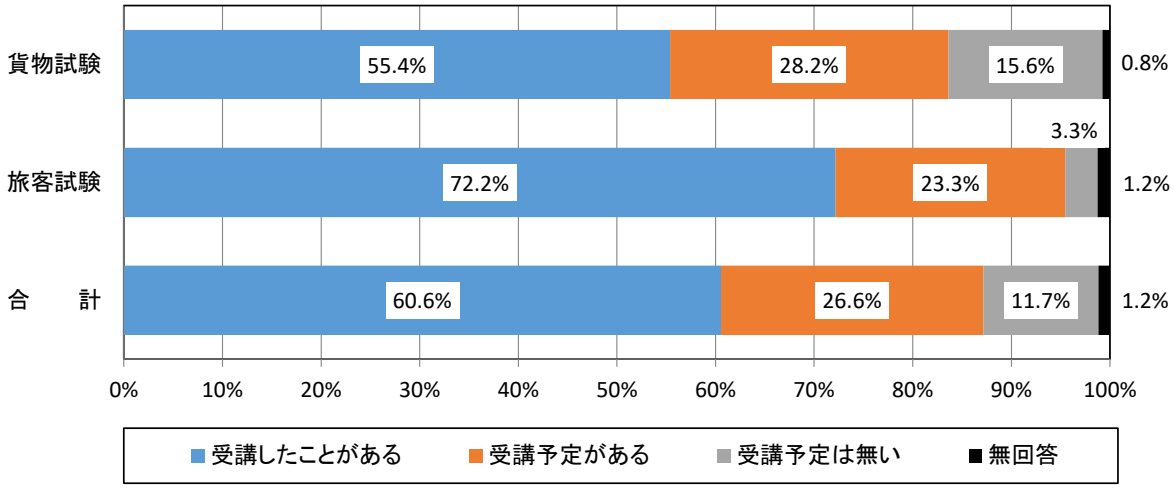
図５－５－１　基礎講習の受講経験について



申請する試験の種別を［貨物試験］としている回答者においては、基礎講習を「受講したことがある」とする回答者は 869 名で 55.4%を占めており、「受講予定がある」は 443 名で 28.2%を占めており、「受講予定は無い」は 245 名で 15.6%となっている。

申請する試験の種別を［旅客試験］としている回答者においては、基礎講習を「受講したことがある」とする回答者は 524 名で 72.2%を占めており、「受講予定がある」は 169 名で 23.3%を占めており、「受講予定は無い」は 24 名で 3.3%となっている。

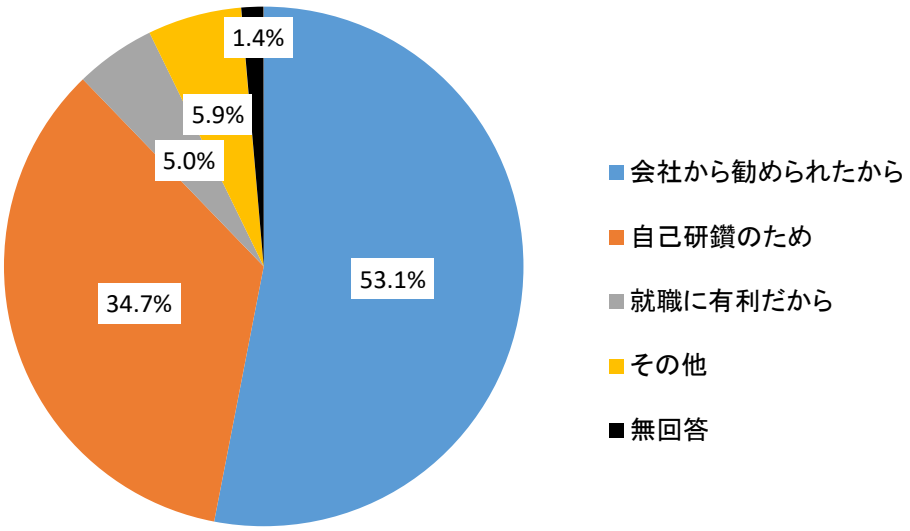
図５－５－２　申請する試験の種別と基礎講習の受講経験について



（６）運行管理者試験を受験する動機について

運行管理者試験を受験する動機としては、「会社から勧められたから」との回答が最も多く 1,223 名と全体の 53.1%、を占めている。次いで多いのは「自己研鑽のため」であり 800 名で全体の 34.7%を占めており、「就職に有利だから」は 115 名で全体の 5.0%となっている。

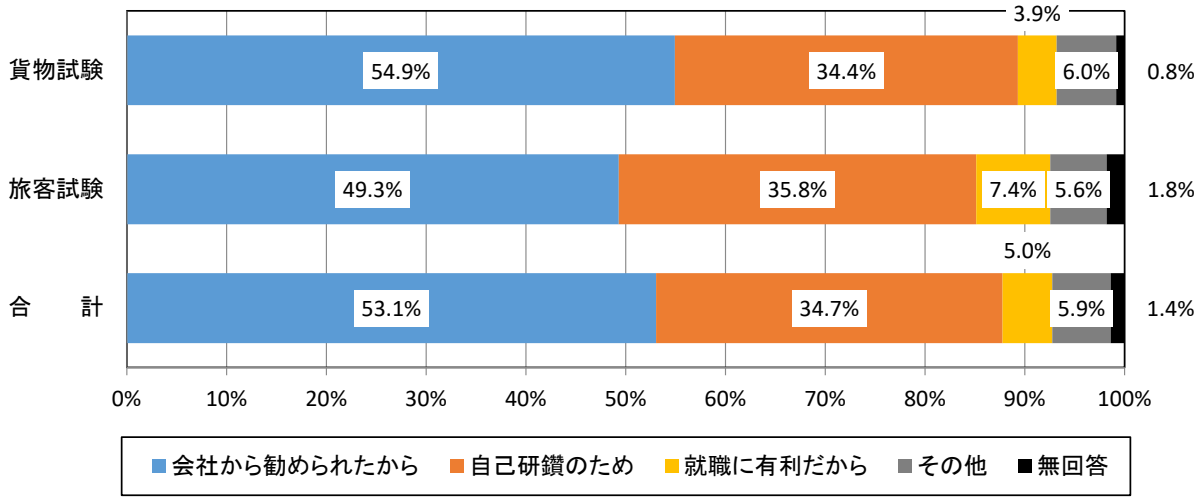
図５－６－１　運行管理者試験を受験する動機について



申請する試験の種別を［貨物試験］としている回答者においては、受験する動機が「会社から勧められたから」とする回答者は 862 名で 54.9%を占めており、「自己研鑽のため」は 539 名で 34.4%を占めており、「就職に有利だから」は 61 名で 3.9%となっている。

申請する試験の種別を［旅客試験］としている回答者においては、受験する動機が「会社から勧められたから」とする回答者は 358 名で 49.3%を占めており、「自己研鑽のため」は 260 名で 35.8%を占めており、「就職に有利だから」は 54 名で 7.4%となっている。

図５－６－２　申請する試験の種別と運行管理者試験を受験する動機について

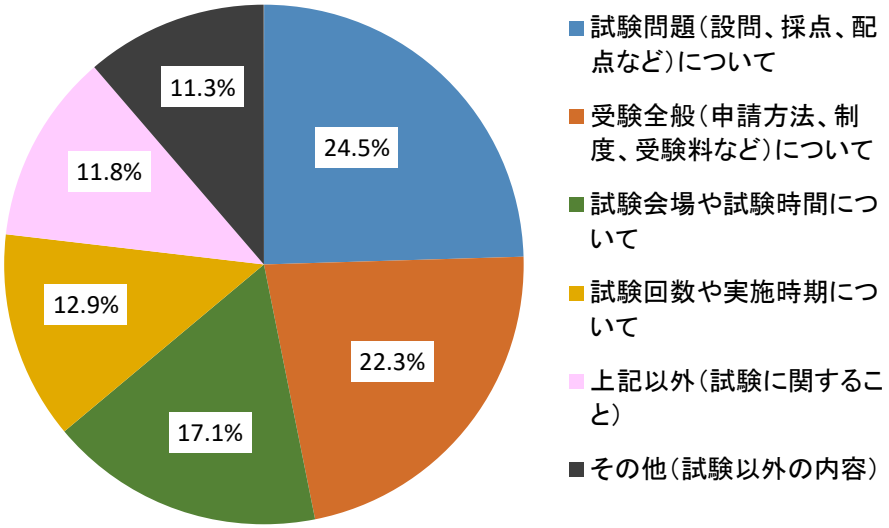


（７）運行管理者試験についてのご意見、ご要望

運行管理者試験についての意見や要望を自由記述にて回答する設問であり、363 名から回答が寄せられている。回答の記述内容からいくつかのカテゴリに分類し、その回答数について以下に示している。

「試験問題（設問、採点、配点など）について」との回答が最も多く 89 名と回答者の 24.5%を占めている。次いで多いのは「受験全般（申請方法、制度、受験料など）について」であり 81 名で回答者の 22.3%を占めており、「試験会場や試験時間について」は 62 名で回答者の 17.1%、「試験回数や実施時期について」は 47 名で回答者の 12.9%となっている。

図５－７－１　運行管理者試験についてのご意見・ご要望



代表的な意見としては、「試験問題」については難易度や出題方式、「受験全般」については申請手続きの簡素化や費用、「試験会場」の事前通知や試験会場追加、「試験時間」の延長、「試験回数」を年３回以上、などである。

６．事業者へのアンケート調査結果

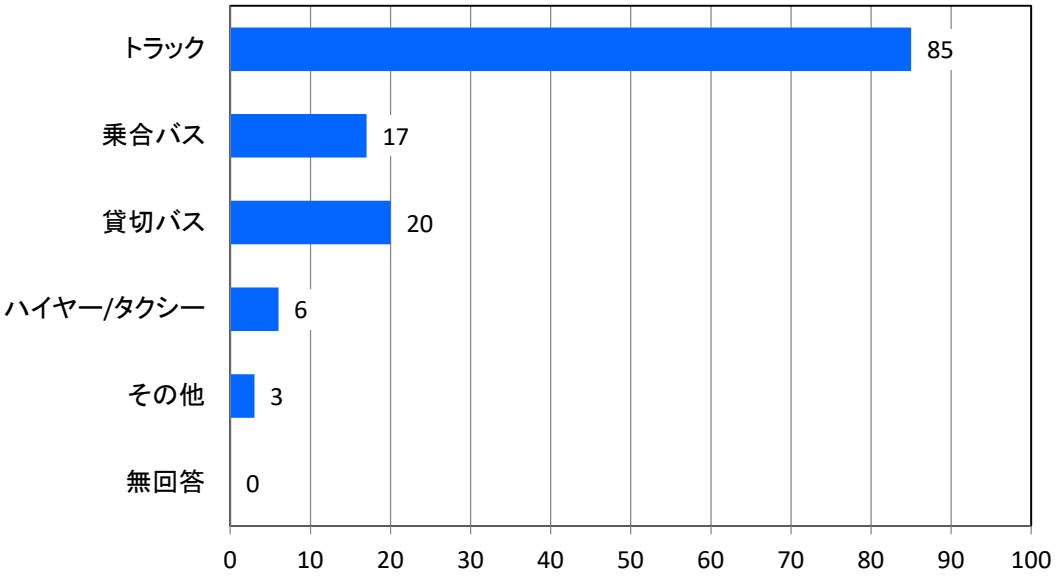
運行管理者試験の申請者が所属する事業者を対象に、利便性向上についてのアンケート調査を実施している。アンケート調査票を事業者に郵送し、記入した回答用紙をＦＡＸにより返送するにより実施した。 252 事業者に郵送し、109 事業者から回答を得ている。ここではアンケートの結果について整理する。

（１）従事する事業の区分について（複数回答可）

回答事業者の従事する事業の区分としては、「トラック」が最も多く 85 件であり、「貸切バス」が 20 件、「乗合バス」が 17 件、「ハイヤー／タクシー」が６件であった。

※この設問は複数の回答が可能となっている。

図６－１－１　従事する事業の区分について

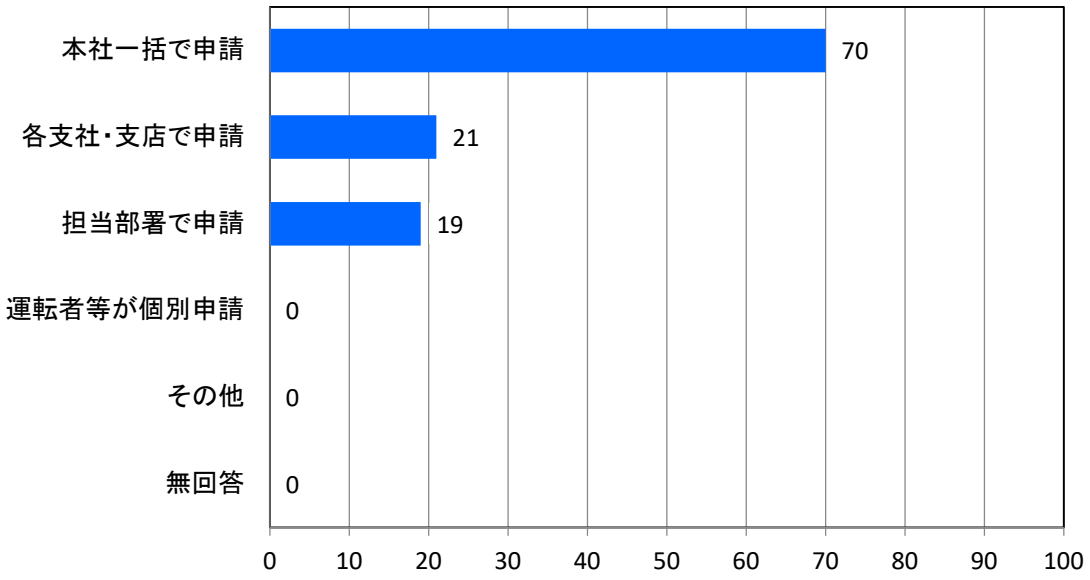


（２）運行管理者試験の申請の担当部署について（複数回答可）

回答事業者の申請の担当部署としては、「本社一括で申請」が最も多く 70 件であり、「各支社・支店で申請」が 21 件、「担当部署で申請」は 19 件であった。

※この設問は複数の回答が可能となっている。

図６－２－１　運行管理者試験の申請の担当部署について

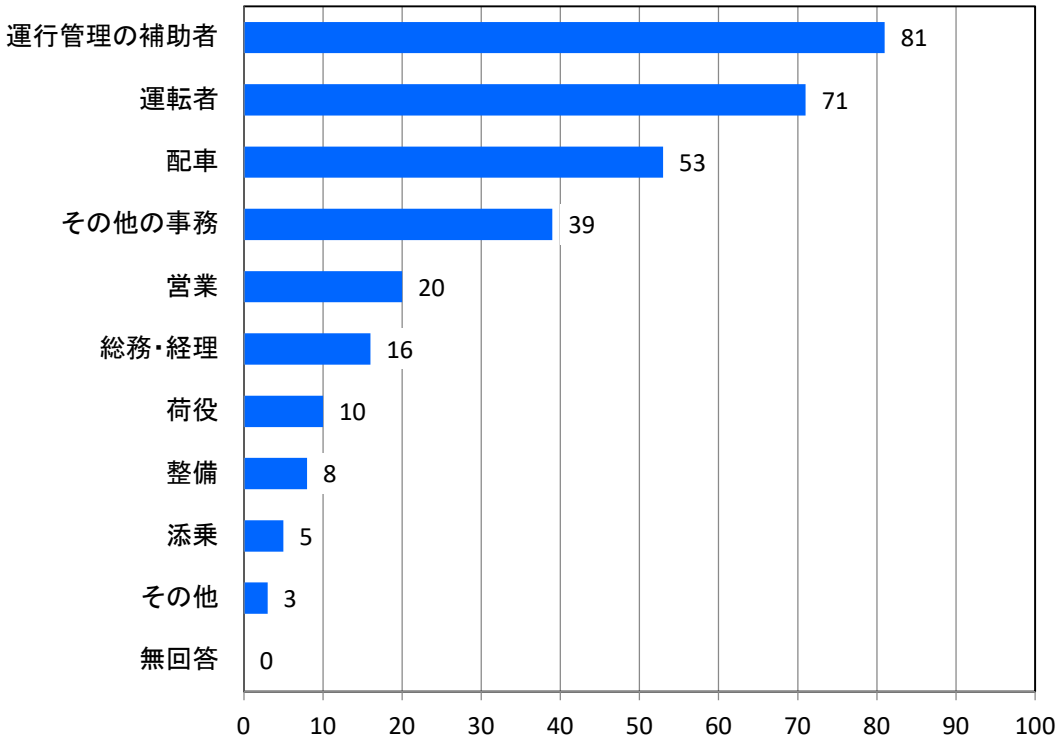


（３）運行管理者試験の受験者が現在従事している主な業務について（複数回答可）

回答事業者において、運行管理者試験の受験者が現在従事している主な業務としては、「運行管理の補助者」が最も多く 81 件であり、次いで多いのは「運転者」の 71 件である。以下、「配車」、「その他の事務」、「営業」などの順となっている。

※この設問は複数の回答が可能となっている。

図６－３－１　受験者が現在従事している主な業務について

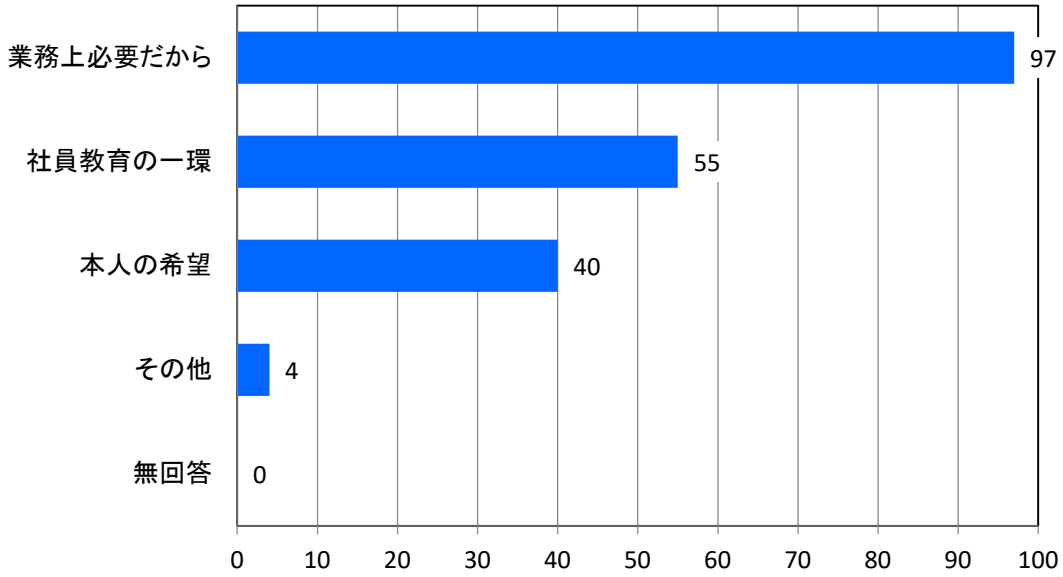


（４）従業員に運行管理者試験を受験させる理由について（複数回答可）

回答事業者において、従業員に運行管理者試験を受験させる理由としては、「業務上必要だから」が最も多く 97 件であり、次いで多いのは「社員教育の一環」の 55 件である。「本人の希望」は 40 件である。

※この設問は複数の回答が可能となっている。

図６－４－１　従業員に運行管理者試験を受験させる理由について

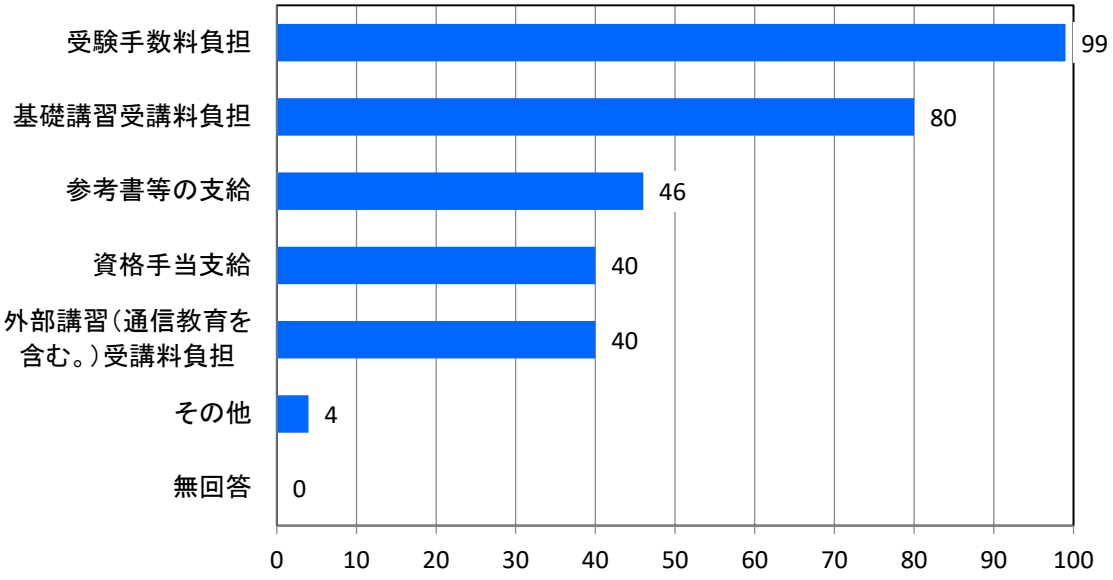


（５）運行管理者試験を受験する従業員への会社の支援について（複数回答可）

回答事業者において、運行管理者試験を受験する従業員への会社の支援としては、「受験手数料負担」が最も多く 99 件であり、次いで多いのは「基礎講習受講料負担」の 80 件である。「参考書等の支給」は 46 件、「資格手当の支給」は 40 件、「外部講習受講料負担」は 40 件である。

※この設問は複数の回答が可能となっている。

図６－５－１　運行管理者試験を受験する従業員への会社の支援について

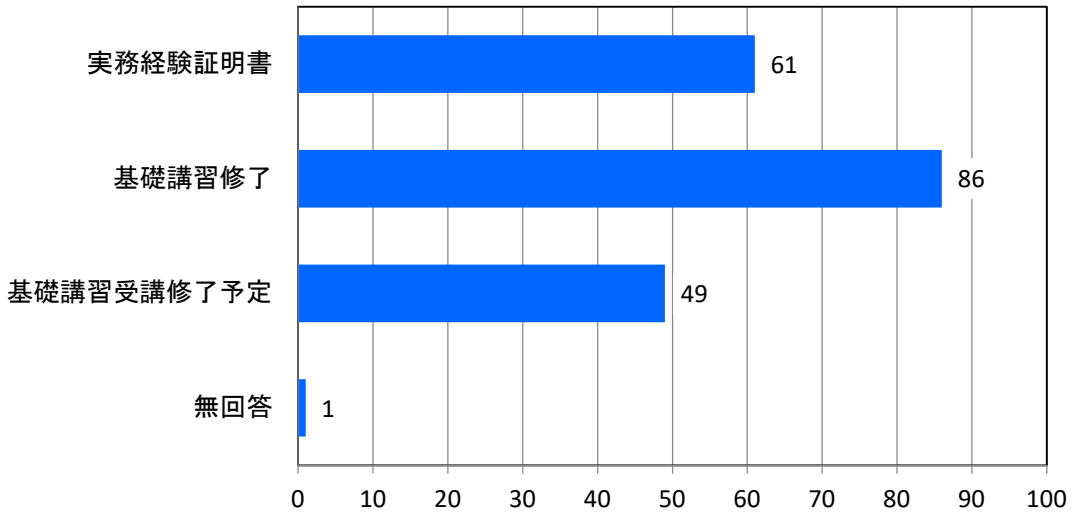


（６）運行管理者試験の受験者の受験資格について（複数回答可）

回答事業者において、運行管理者試験の受験者の受験資格は、「基礎講習修了」が最も多く 86 件である。「基礎講習受講終了予定」は 49 件、「実務経験証明書」は 61 件である。

※この設問は複数の回答が可能となっている。

図６－６－１　運行管理者試験の受験者の受験資格について

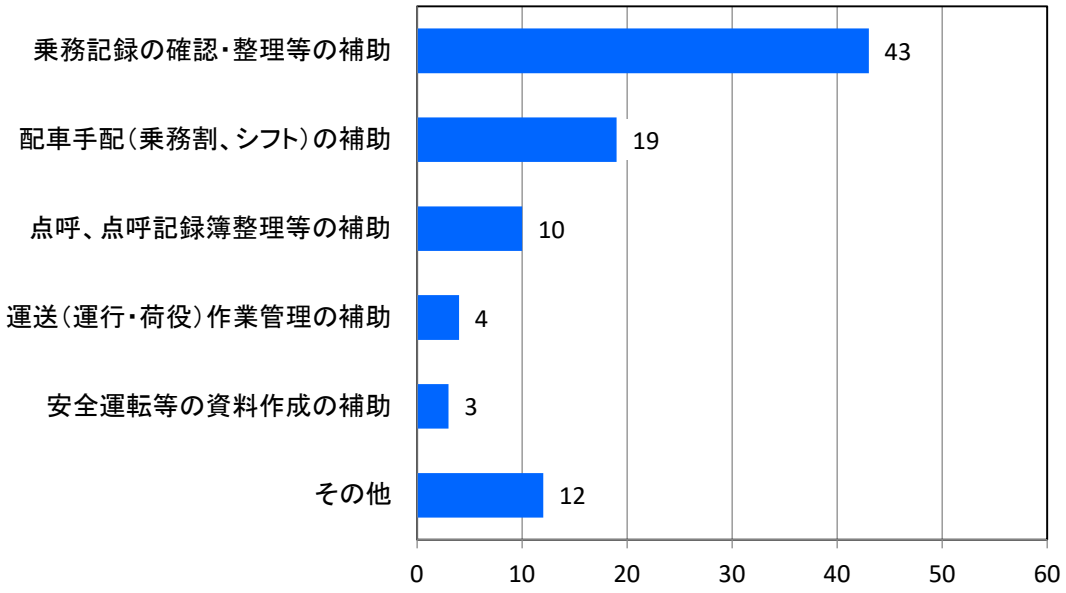


（７）受験資格を実務経験証明書としている場合の主な業務の内容

問７は、実務経験として「事業用自動車の運行の管理に関する業務に従事している（いた）」ことについての主な業務の内容についての記載である。回答の記載内容について、以下の図表に示すカテゴリに該当する回答の数について整理している。１事業者の回答においては複数のカテゴリに該当するケースもあり、回答数合計と回答事業者数は一致しない。

回答のあった 58 事業者のうち、最も多い回答は「乗務記録の確認・整理等の補助業務」であり 43 件である。次いで多いのは「配車手配（乗務割、シフト）の補助」であり 19 件である。「点呼、点呼記録簿整理等の補助」は 10 件であった。

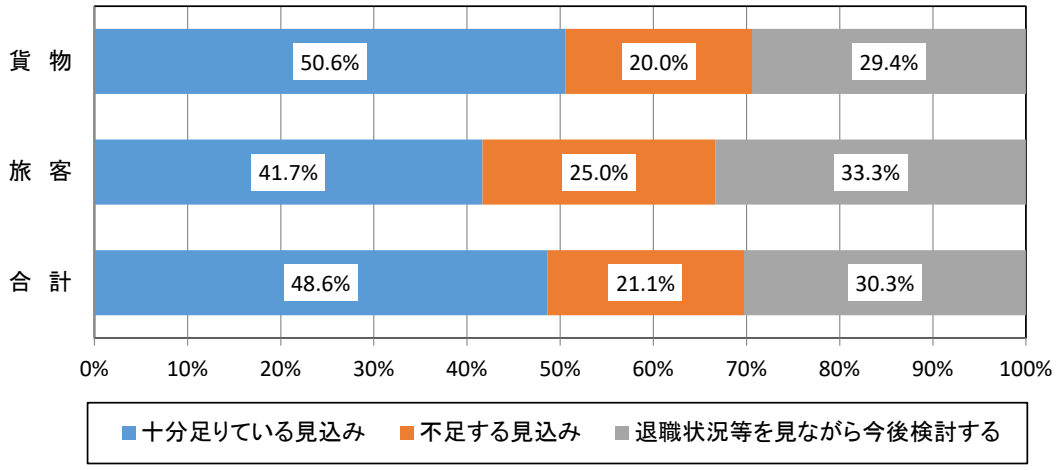
図６－７－１　受験資格を実務経験証明書としている場合の主な業務の内容



（８）運行管理者資格者証を有する者の充足状況について

回答事業者における、運行管理者資格者証を有する者の充足状況としては、「十分足りている見込み」が最も多く 53 事業者で 48.6%を占めている。次いで多いのは「退職状況等を見ながら今後検討する」が 33 事業者（30.3%）であり、「不足する見込み」は 23 事業者（21.1%）である。

図６－８－１　運行管理者資格者証を有する者の充足状況について

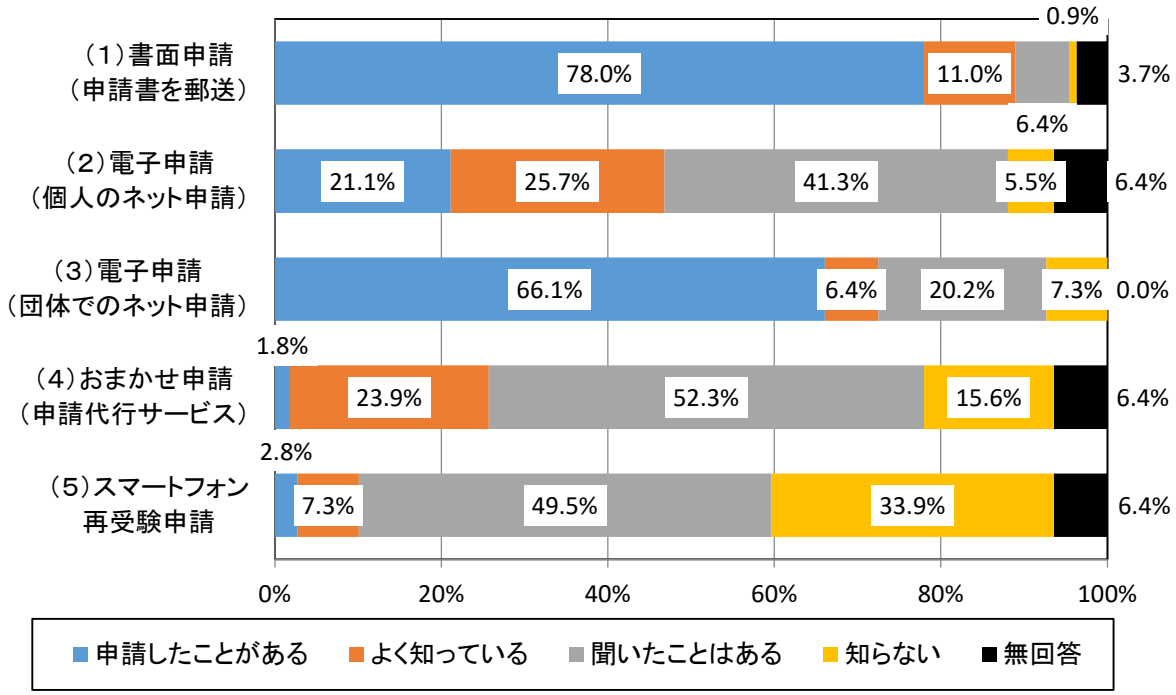


（９）運行管理者試験の申請方法について

この設問は運行管理者試験の申請方法の利用経験や認知状況について尋ねている。

・『書面申請』については 78.0%の事業者が「申請したことがある」との回答である。
・『電子申請（個人でのネット申請）』については 21.1%の事業者が「申請したことがある」との回答であり、「知らない」との回答は 5.5%であった。
・『電子申請（団体でのネット申請）』については 66.1%の事業者が「申請したことがある」との回答であり、「知らない」との回答は 7.3%である。
・『おまかせ申請（申請代行サービス）』を「知らない」との回答は 15.6%である。
・『スマートフォン再受験申請』を「知らない」との回答は 33.9%である。

図６－９－１　運行管理者試験の申請方法について



（１０）運行管理者試験、運行管理者試験センターへのご意見・ご要望等

問 10 は、運行管理者試験の申請方法、運行管理者試験センターからの通知等に関するご意見・ご要望についての記載である。主な意見について以下に示す。

・団体申請においては、受験番号や試験結果を会社にも通知して欲しい
・団体申請は便利であるが、多少わかりにくい
・団体で電子申請を利用しているが、手間がかからず、大変利用しやすい
・書面申請が慣れているので、今後も残して欲しい

７．調査のまとめ

（１）過去 10 回（５年間）の運行管理者試験の申請者情報からみた傾向について

①申請者の年齢

・過去 10 回の・過去 10 回の運行管理者試験の〔貨物〕試験における合格率（合格者÷受験者）は平均すると 28.4％であり、〔旅客〕試験の合格率は 30.9％である。

・〔貨物〕試験における申請者の平均年齢は 39.0 歳であり、〔旅客〕試験における申請者の平均年齢は 44.0 歳である。〔旅客〕試験の申請者は〔貨物〕試験の申請者よりも、年齢層は５歳程度高くなっている。

②申請の性別

・過去 10 回の〔貨物〕試験における申請者の男女別の構成は平均すると、男性は 87.5％、女性は 12.5％を占めている。〔旅客〕試験における申請者の男女別の構成は、男性は 85.2％、女性は 14.8％を占めている。〔旅客〕試験の申請者は〔貨物〕試験の申請者よりも、女性の占める割合が多くなっている。

・過去５年間の傾向としては、〔貨物〕試験、〔旅客〕試験ともに、申請者における女性の占める割合が、回を追うごとに、多くなる傾向にある。

③合格者と年齢

・過去 10 回の〔貨物〕試験における合格率（合格者÷受験者）は平均すると 28.4％であり、〔旅客〕試験の合格率は 30.9％である。

・〔貨物〕〔旅客〕試験ともに、毎回、申請者の１割弱は試験を欠席している。

・過去 10 回の〔貨物〕試験における合格者の平均年齢は 39.0 歳であり、〔旅客〕試験における申請者の平均年齢は 43.5 歳である。〔旅客〕試験の合格者は〔貨物〕試験の合格者よりも、年齢層は５歳程度高くなっている。

④受験資格

・過去 10 回の〔貨物〕試験における申請者の受験資格は、平均すると「実務経験１年以上」は 37.4％、「基礎講習修了」は 39.7％、「基礎講習修了見込」は 16.7％である。

・過去 10 回の〔旅客〕試験における申請者の受験資格は、平均すると「実務経験１年以上」は 7.9％、「基礎講習修了」は 60.5％、「基礎講習修了見込」は 23.5％である。

・〔旅客〕試験において受験資格を「実務経験１年以上」とする申請者の割合は、〔貨物〕試験と比較すると、大幅に低くなっている。この傾向は過去５年間も同様である。

・〔貨物〕〔旅客〕試験ともに、試験地によって、受験資格「実務経験１年以上」の割合が比較的高い地域、「基礎講習」が非常に高い地域、など試験地による傾向が大きく異なる。

・〔貨物〕〔旅客〕試験ともに、受験資格を「基礎講習」とする受験者の合格率が「実務経験」とする受験者の合格率を上回っている。

（２）受験者の実態と傾向について

①受験者がこれまでに従事した主な業務

・受験者へのアンケート結果によると、受験者がこれまでに従事した主な業務としては、「運転」が最も多く回答者の６割強を占めており、「運行管理の補助」は 42.3%、「その他の事務」は 29.7%、「営業」は 29.5%を占めている。

・事業者へのアンケート結果によると、「運行管理の補助者」が最も多く、次いで「運転者」「配車」「その他の事務」「営業」などの順となっている。

②受験させる理由

・受験者へのアンケート結果によると、試験を受験する動機としては「会社から勧められたから」が最も多く回答者の 53.1%を占めており、「自己研鑽のため」は 34.7%である。

・事業者へのアンケート結果によると、「業務上必要だから」が最も多く、次いで「社員教育の一環」「本人の希望」などの順となっている。

③受験者への会社からの支援

・事業者へのアンケート結果によると、「受験手数料負担」が最も多く、次いで「基礎講習受講料負担」「参考書等の支給」などの順であり、以下、「資格手当の支給」「外部講習受講料負担」などとなっている。

④受験資格について

・受験者へのアンケート結果によると、受験資格としては「基礎講習修了」が最も多く回答者の 58.1%を占めており、「基礎講習修了見込み」は 22.2%、「実務経験」は 18.6%である。

・事業者へのアンケート結果によると、「基礎講習修了」が最も多く、次いで「実務経験」「基礎講習終了予定」などの順となっている。

⑤受験資格「実務経験」についての主な従事業務

・事業者へのアンケート結果によると、受験資格「実務経験」についての主な業務としては「乗務等の記録（運転日報、デジタコ、等を含む）の確認・整理に関する補助業務」「配車業務全般における補助」「点呼・アルコールチェック等の補助業務」「資料の作成整理」などとなっている。

（参考）運行管理者の業務とは

運行管理者の主な業務は、ドライバーの乗務割の作成、乗務記録の管理、休憩・睡眠施設の保守管理、ドライバーの指導監督、業務前後の点呼によるドライバーの疲労・健康状態等の把握や安全のための指導など多岐にわたっています。人や車両の動向を掌握して常に安全を確保する高度な判断力と、運転者にいつも適切な指示を行う優れた指導力とが求められます。（運行管理者試験センターＨＰより）

付 属 資 料

・申請者へのアンケート調査票（受験申請書に同封）
・申請者へのアンケート調査票（ＨＰからダウンロード）
・事業者へのアンケート調査票

～運行管理者試験の利便性向上等に関するアンケート調査～

このアンケートは、運行管理者試験の受験申請者の利便性向上等を目的として、運行管理者試験を申請する皆様に対して、公益財団法人運行管理者試験センターが実施するものです。

以下のアンケートの設問について、申請者の皆様のご意見を、右下の葉書ウラ面の回答欄にご記入いただき、切り取り線にて切り離し、切手を貼らずに郵便ポストにご投函下さい。

【アンケート設問】

問１　申請する試験の種別について、該当する番号を一つ、葉書ウラ面の回答欄にご記入下さい。

１．貨物試験　　２．旅客試験

問２　従事する事業の区分について、該当するもの（１～５の番号）をいくつでも結構です。葉書ウラ面の回答欄にご記入下さい。

１．トラック　　２．乗合バス　　３．貸切バス
４．ハイヤー／タクシー　　５．その他

問３　これまでに従事した主な業務について、該当するもの（１～１０の番号）をいくつでも結構です。葉書ウラ面の回答欄にご記入下さい。

１．営　業　　２．総務・経理　　３．運行管理の補助　　４．その他の事務
５．運　転　　６．荷　役　　７．配　車　　８．添　乗
９．整　備　　10．その他

※このアンケート用紙の裏面にも設問がございます。
ご協力をお願い致します。

平成30年11月

アンケート問合せ先
公益財団法人 運行管理者試験センター
アンケート調査担当
電　話　０３－６８０３－４３２３
電子メール　info@unkan.or.jp

※このアンケートは申請者個人を特定するものではありません。受験申請者の利便性向上を目的として、広く皆様のご意見を伺うものです。
調査の趣旨にご理解をいただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

<切り取り線>

郵　便　は　が　き

料金受取人払郵便
芝局承認
6898
差出有効期間
平成30年12月
31日まで
（切手を貼らずにご投函ください。）

105-8790
150

東京都港区区芝大門1丁目
16番3号芝大門116ビル7階

公益財団法人運行管理者試験センター 行

※公益財団法人運行管理者試験センターからのお願い

運行管理者試験の受験申請者の利便性向上を目的として、運行管理者試験を書面により申請した皆様に対してアンケート調査を行うものです。つきましては、設問にご回答いただき、郵便ポストに切手を貼らずにご投函下さい。調査の趣旨にご理解をいただき、アンケートにご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

問４　申請する受験資格について、該当する番号を一つ、葉書ウラ面の回答欄にご記入下さい。

１．実務経験　　２．基礎講習修了　　３．基礎講習修了見込み

問５　基礎講習の受講経験について、該当する番号を一つ、葉書ウラ面の回答欄にご記入下さい。

１．受講したことがある　　２．受講予定がある　　３．受講予定は無い

問６　運行管理者試験を受験する動機について、該当する番号を一つ、葉書ウラ面の回答欄にご記入下さい。

１．会社から勧められたから　　２．自己研鑽のため　　３．就職に有利だから
４．その他

問７　運行管理者試験についてご意見やご要望がありましたら葉書ウラ面の回答欄にご記入下さい。

※ご協力ありがとうございました。ご記入いただいた葉書は、切り取り線にて切り離し、切手を貼らずに平成 30 年 12 月 14 日までに郵便ポストにご投函下さい。

<切り取り線>

問１　申請する試験の種別について、該当する番号を一つご記入下さい。　　番号記入欄〔　　〕

問２　従事する事業の区分について、該当する番号を全てご記入下さい。

番号記入欄〔　　〕〔　　〕〔　　〕
〔　　〕〔　　〕

問３　これまで従事した主な業務について、該当する番号を全てご記入下さい。

番号記入欄〔　　〕〔　　〕〔　　〕
〔　　〕〔　　〕〔　　〕
〔　　〕〔　　〕〔　　〕〔　　〕

問４　申請する受験資格について、該当する番号を一つご記入下さい。　　番号記入欄〔　　〕

問５　基礎講習の受講経験について、該当する番号を一つご記入下さい。　　番号記入欄〔　　〕

問６　運行管理者試験を受験する動機について、該当する番号を一つご記入下さい。　　番号記入欄〔　　〕

問７　運行管理者試験についてご意見やご要望がありましたら下記にご記入下さい。

※ご協力ありがとうございました。この葉書は切手を貼らずに平成 30 年 12 月 14 日までにご投函下さい。

※このアンケートは申請者個人を特定するものではありません。受験申請者の利便性向上を目的として、広く皆様のご意見を伺うものです。調査の趣旨にご理解をいただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成３０年１１月９日

各　位

運行管理者試験の利便性の向上等に関するアンケートのお願いについて

平素は、（公財）運行管理者試験センターの業務運営にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、平成３０年度第２回運行管理者試験の申請、受付が開始されました。

併せて運行管理者試験の利便性の向上等を目的として、運行管理者試験を申請する申請者の方々に公益財団法人運行管理者試験センターがアンケート調査を実施いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

つきましては、別紙「運行管理者試験の利便性の向上等に関するアンケート調査」にご記入のうえ、運行管理者試験センター 事務センターあてにＦＡＸにて、平成３０年 １２月１４日（金）までに送信していただきますよう、よろしくお願い致します。

【お問合せ先】
公益財団法人　運行管理者試験センター
試験事務センター：０４－７１７０－７０７７
試験事務センター電子申請係
：０４－７１７０－７０８８

別紙

公益財団法人　運行管理者試験センター　試験事務センター　行

ＦＡＸ　０４－７１７０－８５５５

運行管理者試験の利便性向上等に関するアンケート

このアンケートは、運行管理者試験の受験申請者の利便性向上等を目的として、運行管理者試験を申請する皆様に、公益財団法人運行管理者試験センターが実施するものです。

つきましては、申請者の皆様におかれましては、下記の中からあてはまる文章の番号に○をつけていただき、上記ＦＡＸ番号にて運行管理者試験センターまでご送信下さい。

【アンケート設問】

問１　申請する試験の種別について、該当する番号を一つ、○をご記入下さい。

１．貨物試験　　２．旅客試験

問２　従事する事業の区分について、該当するもの（１～５の番号）をいくつでも結構です。
該当する番号に○をご記入下さい。

１．トラック　　２．乗合バス　　３．貸切バス

４．ハイヤー／タクシー　　５．その他

問３　これまでに従事した主な業務について、該当するもの（１～１０の番号）をいくつでも結構です。該当する番号に○をご記入下さい。

１．営業　２．総務・経理　３．運行管理の補助　４．その他の事務

５．運転　６．荷役　７．配車　８．添乗　９．整備　１０．その他

問４　申請する受験資格について、該当する番号を一つ、○をご記入下さい。

１．実務経験　　２．基礎講習修了　　３．基礎講習修了見込み

問５　基礎講習の受講経験について、該当する番号を一つ、○をご記入下さい。

１．受講したことがある　２．受講予定がある　３．受講予定は無い

問６　運行管理者試験を受験する動機について、該当する番号を一つ、○をご記入下さい。

１．会社から勧められたから　２．自己研鑽のため３．就職に有利だから

４．その他

問７　運行管理者試験について、ご意見、ご要望がありましたら下記にご記入下さい。

……

……

……

※アンケートの質問は以上で終わりです。ご協力、ありがとうございました。
ご回答のアンケート調査票は、平成３０年１２月１４日までに、お手数ですが試験事務センターまでＦＡＸして下さい。

【お問合せ先】ＴＥＬ:０４－７１７０－７０７７　ＦＡＸ:０４－７１７０－８５５５

公益財団法人　運行管理者試験センター　行

ＦＡＸ　０３－６８０３－４３２４

～運行管理者試験の利便性向上等に関するアンケート調査～

このアンケートの設問につきましては、運行管理者試験の申請に携わられる御社のご意見等を次の欄にご記入いただき、アンケートをＦＡＸにて送信して下さい。

【アンケート設問】

問１　従事される事業の区分について、該当する番号（１～５）を回答欄にご記入下さい。事業区分が複数ある場合は、全てを回答欄にご記入下さい。

１．トラック　２．乗合バス　３．貸切バス　４．ハイヤー/タクシー
５．その他（　　）

回答欄

問２　運行管理者試験を申請される場合の担当部署等について、該当する番号（１～５）を回答欄にご記入下さい。

１．本社一括で申請　２．各支社・支店で申請　３．担当部署で申請
４．運転者等が個別申請　５．その他（　　）

回答欄

問３　運行管理者試験の受験者が現在従事している主な業務について、該当する番号（１～１０）をいくつでも結構です。回答欄にご記入下さい。

１．営業　２．総務・経理　３．その他の事務　４．運行管理の補助者
５．運転者　６．荷役　７．配車　８．添乗　９．整備
１０．その他（　　）

回答欄

問４　従業員に運行管理者試験を受験させる理由について、該当する番号（１～４）をいくつでも結構です。回答欄にご記入下さい。

１．業務上必要だから　２．社員教育の一環　３．本人の希望
４．その他（　　）

回答欄

問５　運行管理者試験を受験される方への会社からの支援について、該当する番号（１～８）をいくつでも結構です。回答欄にご記入下さい。

１．受験手数料負担　２．資格手当支給　３．基礎講習受講料負担
４．参考書等の支給　５．外部講習（通信教育を含む。）受講料負担
６．その他（　　）

回答欄

問６　運行管理者試験の受験者の受験資格について、御社に該当する番号（１～３）をいくつでも結構です。回答欄にご記入下さい。

１．実務経験証明書　２．基礎講習修了　３．基礎講習受講修了予定

回答欄

※このアンケート用紙は、次頁にも設問がございます。ご協力をお願い致します。

問７　「問６」において、「１．実務経験証明書」を選択された方にお伺いします。
実務経験として「事業用自動車の運行の管理に関する業務に従事している（いた）」ことについての主な業務の内容を簡単にまとめて、以下にご記載下さい。
例：「乗務等の記録」の確認・整理等に関する補助業務

問８　御社における運行管理者資格者証を有する者の充足状況について、お伺いします。数年後における充足状況の見込みについて、該当する番号（１～３）を回答欄にご記入下さい。

回答欄

１．十分足りている見込み。　　２．不足する見込み。
３．退職状況等を見ながら今後検討する。

問９　運行管理者試験の申請方法については以下の５つの方法があることをご存じでしたか。
(1)～(5)の申請方法についてあてはまる内容を、それぞれ１～４の番号を一つ選んで○をつけて下さい。

申請方法について	申請したことがある	よく知っている	聞いたことはある	知らない
（1）　書面申請（申請書を郵送）	1	2	3	4
（2）　電子申請（個人のネット申請）	1	2	3	4
（3）　電子申請（団体でのネット申請）	1	2	3	4
（4）　おまかせ申請（申請代行サービス）	1	2	3	4
（5）　スマートフォン再受験申請	1	2	3	4

問１０　運行管理者試験の申請方法、運行管理者試験センターからの通知等に関するご意見・ご要望等がありましたら、以下にご記載下さい。

※ご協力ありがとうございました。ご記入いただいたアンケートは、お手数ですが運行管理者試験センター宛てに平成３１年１月１８日（金）までに、ＦＡＸにて送信して下さい。

御社名 支社・支店名	
部署名	
役職名・お名前	
電話番号	

【アンケートお問合せ先】
公益財団法人　運行管理者試験センター　アンケート調査係
電　話　０３－６８０３－４３２３
ＦＡＸ　０３－６８０３－４３２４
電子メール　info@unkan.or.jp